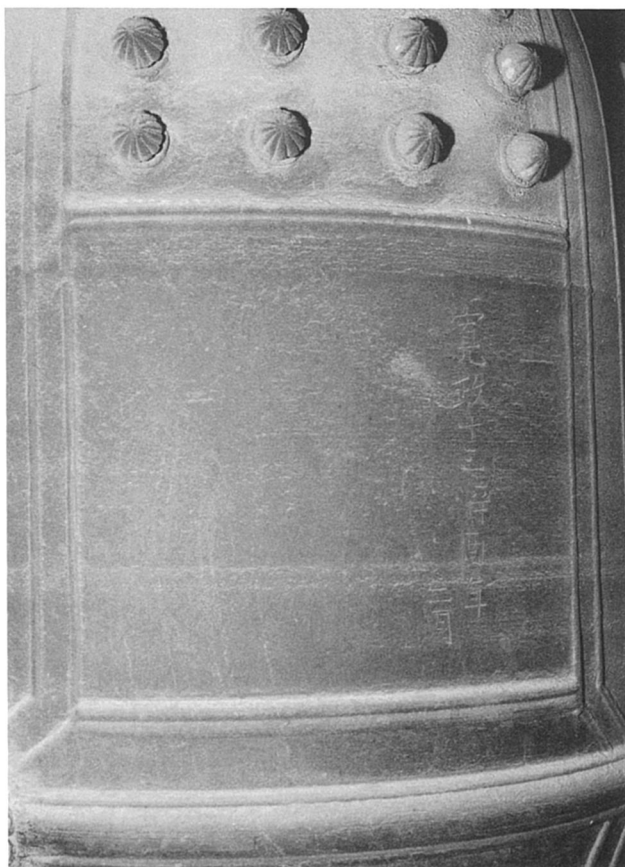
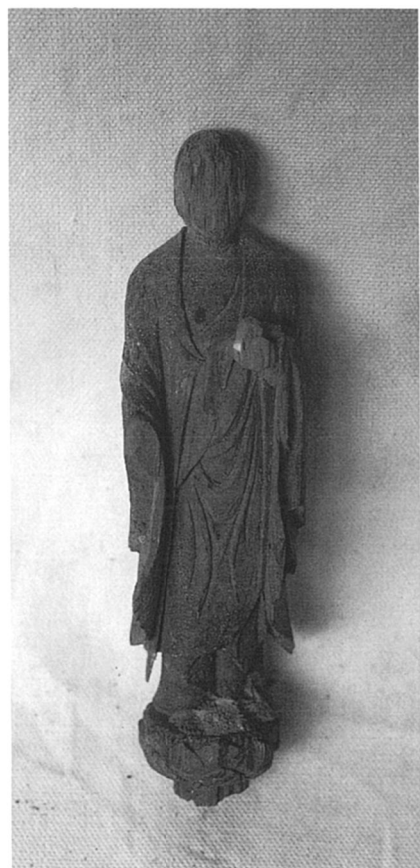


36 喚鐘



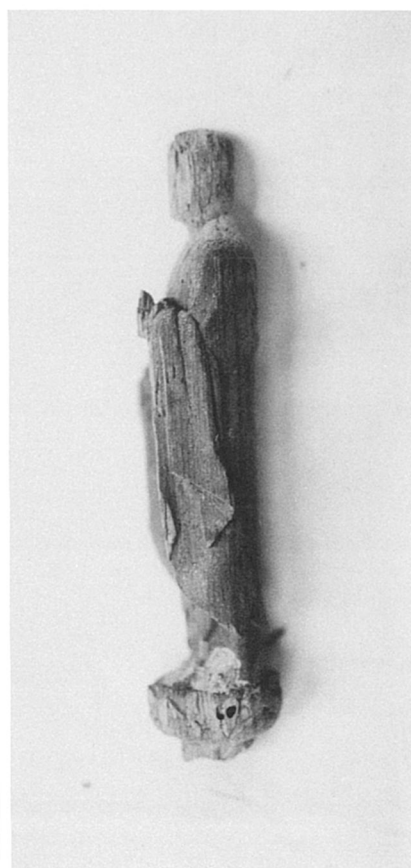
同 池の間陰刻銘



38 神像 立像 (蓮台にのる)



同 背面



同 左側面



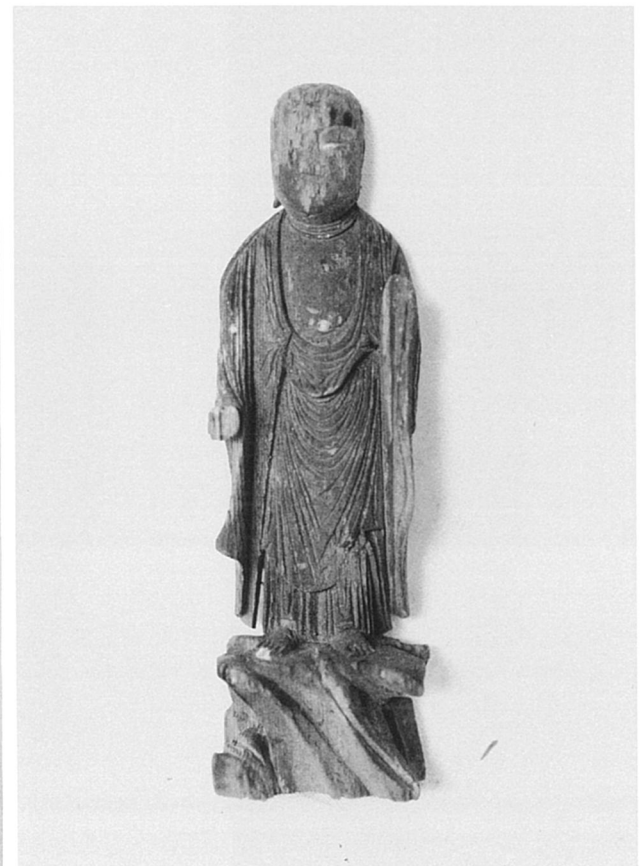
神像（坐像）



同 左側面



同 背面



神像（岩座にのる）



同 左側面



同 背面



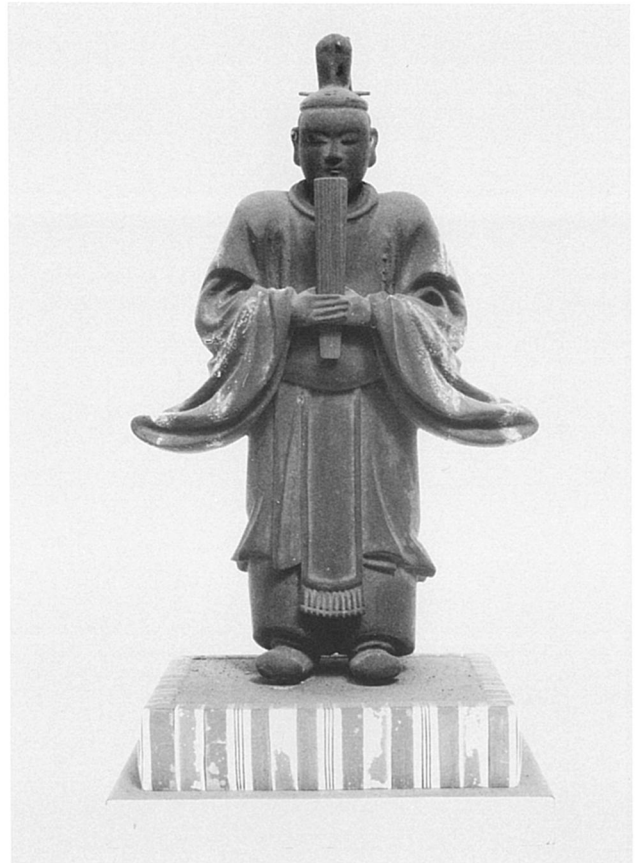
39-1 牛頭天王立像



同 左側面



同 背面



39-2 諏訪明神立像



同 左側面



同 背面



39-3 春日明神立像



同 左側面



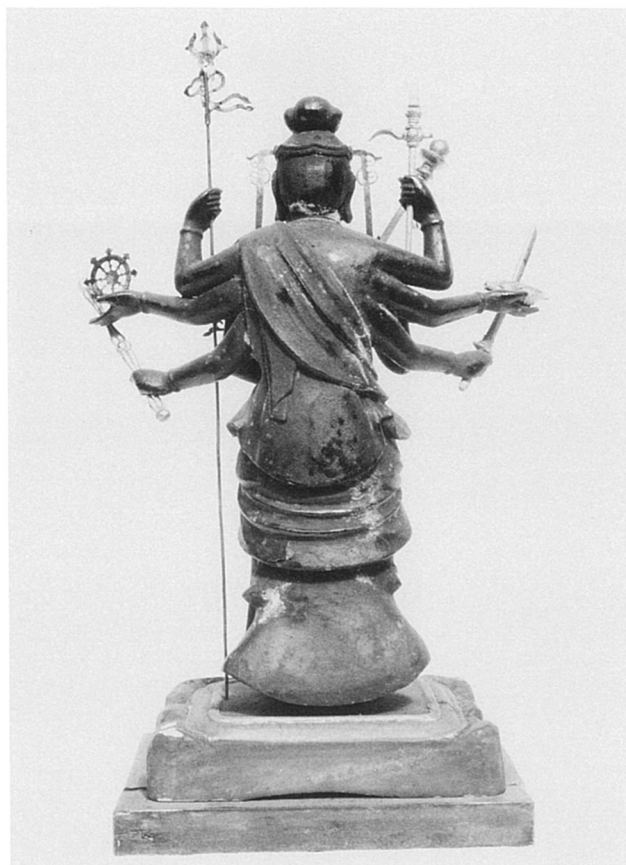
同 背面



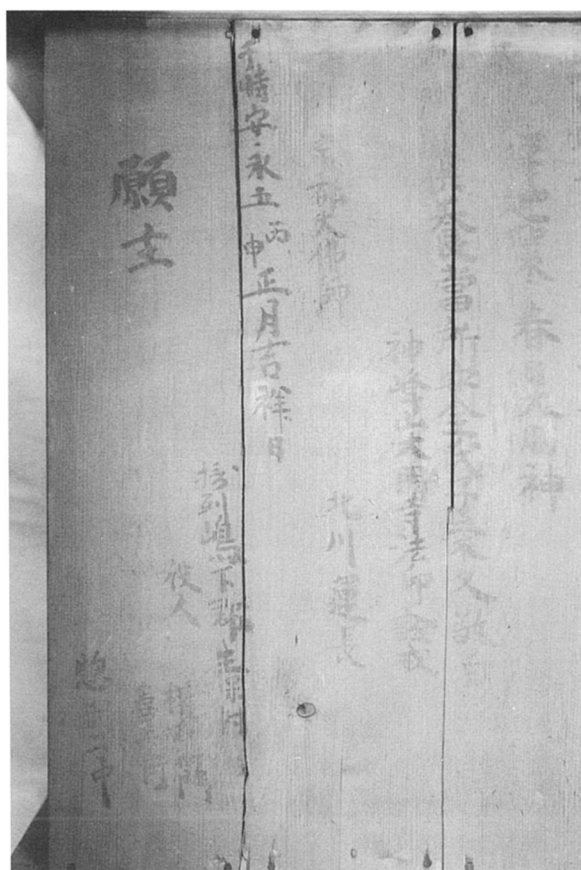
39-4 自在天立像



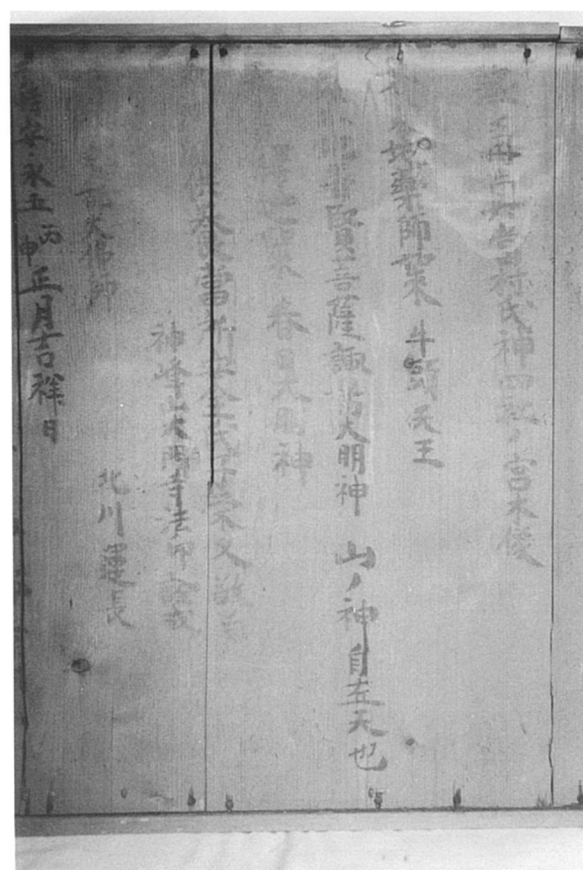
同 左側面



同 背面



厨子背面墨書 (部分)



同



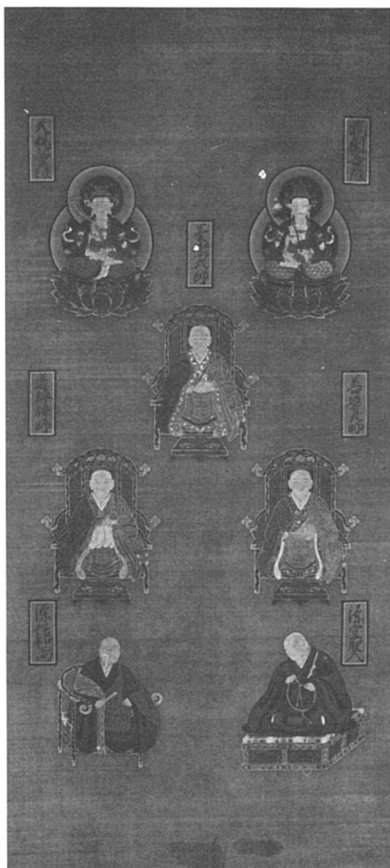
45 阿弥陀如来立像



同 左側面



同 背面



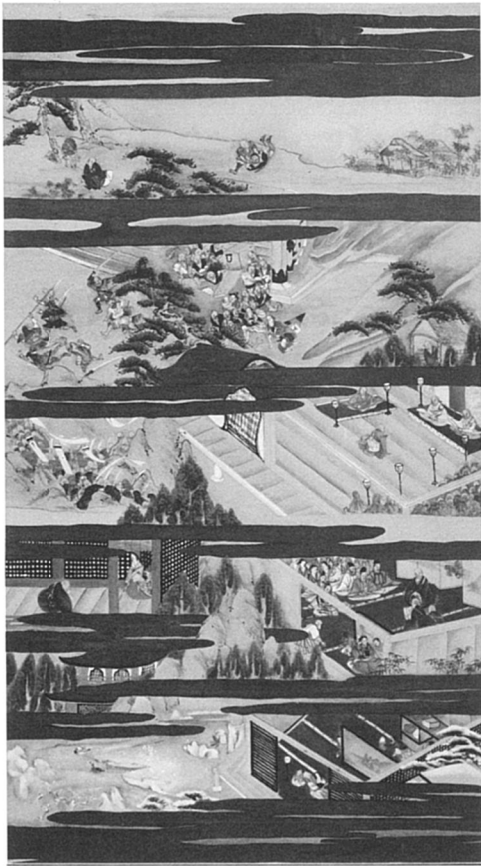
46 七高祖像



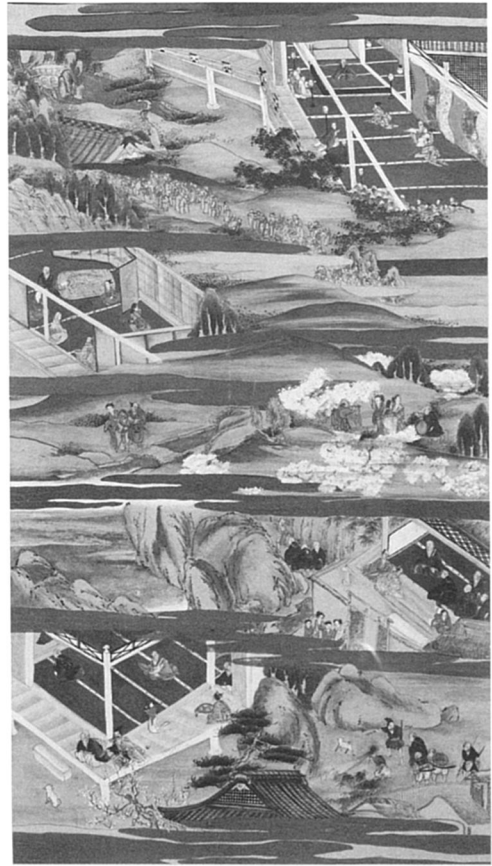
47 聖徳太子像



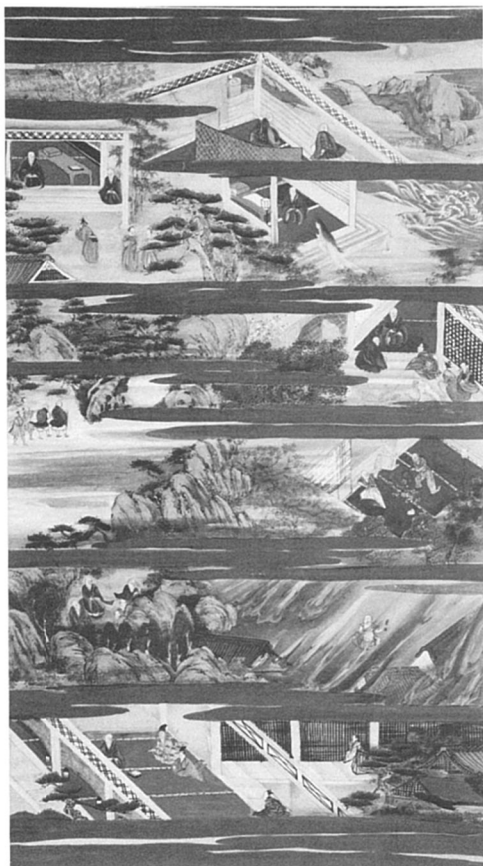
48 親鸞聖人像



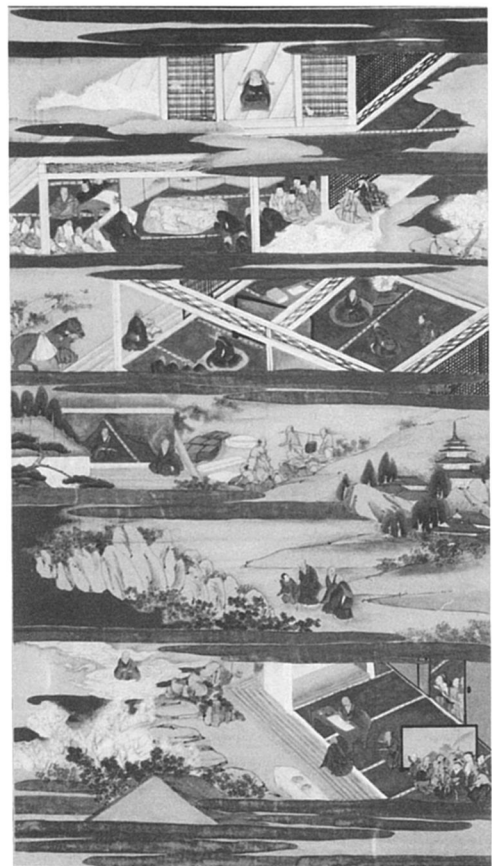
50 蓮如上人絵伝 (第1幅)



(第2幅)



(第3幅)



(第4幅)

大岩地区(円福寺4)



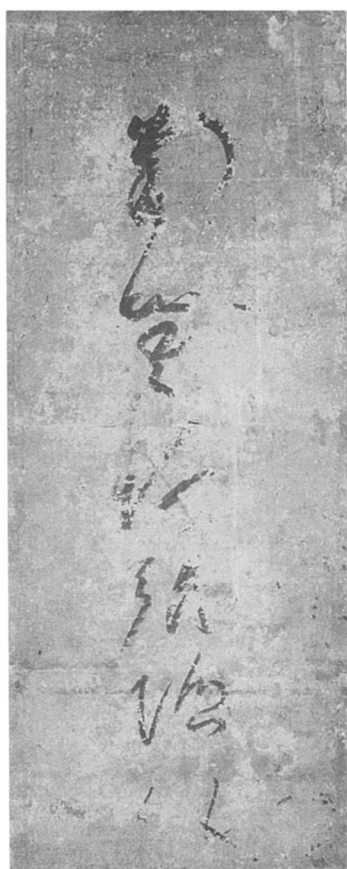
49 蓮如上人像



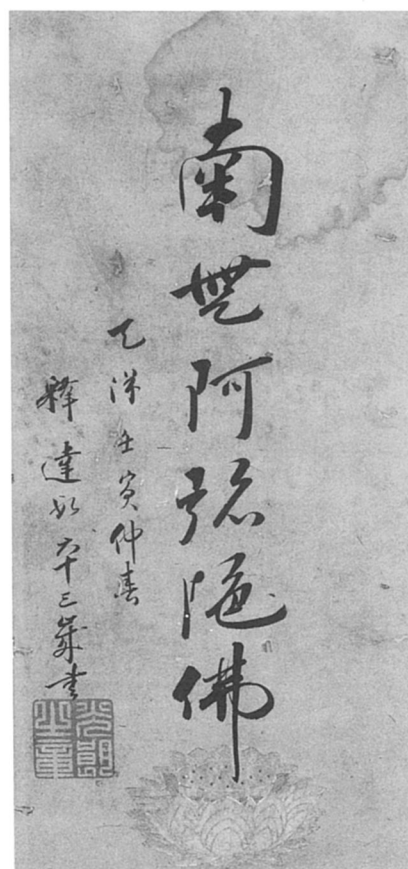
53 竹図



55 布袋図



58 六字名号



59 六字名号



63 大歳命坐像



64 素盞鳴命坐像



65 狛犬



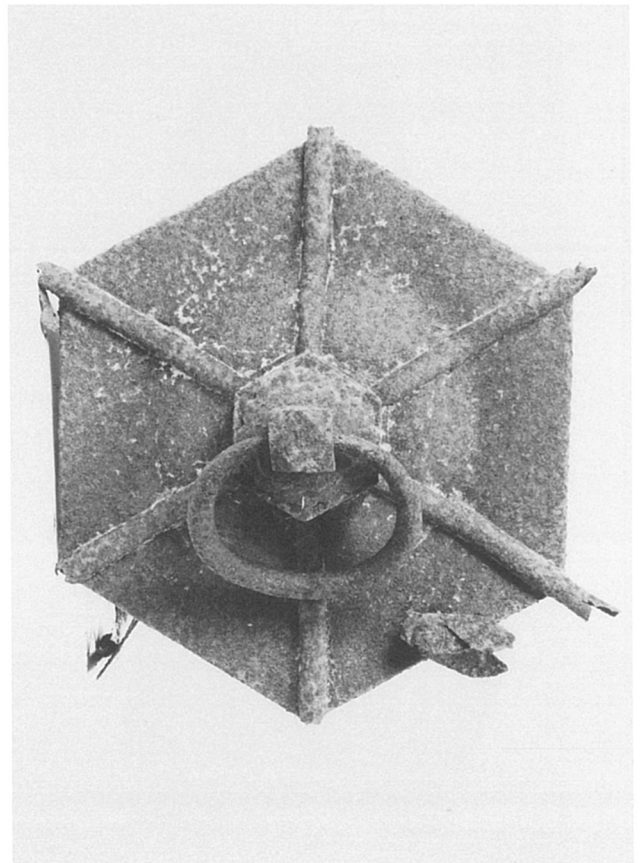
66 釣燈籠



68 柄鏡



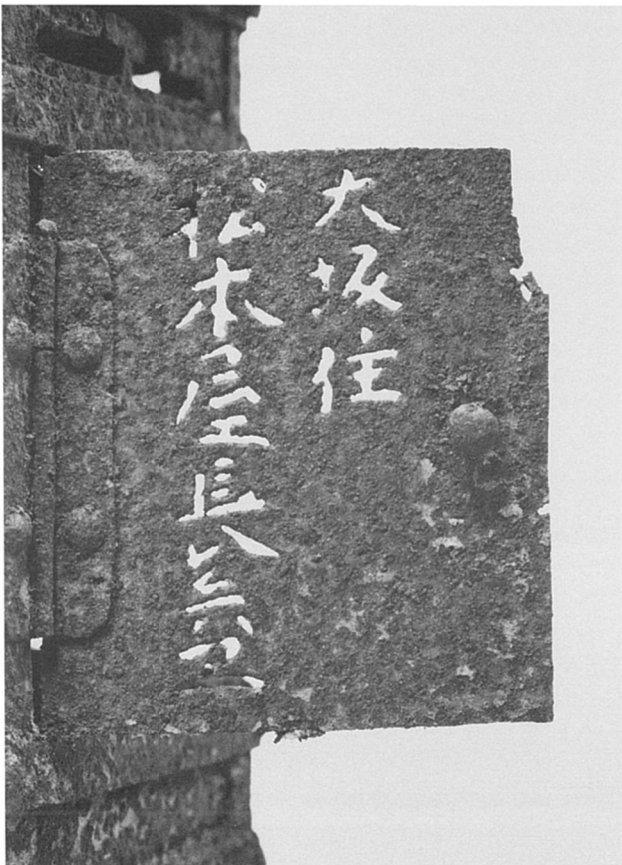
67 釣燈籠



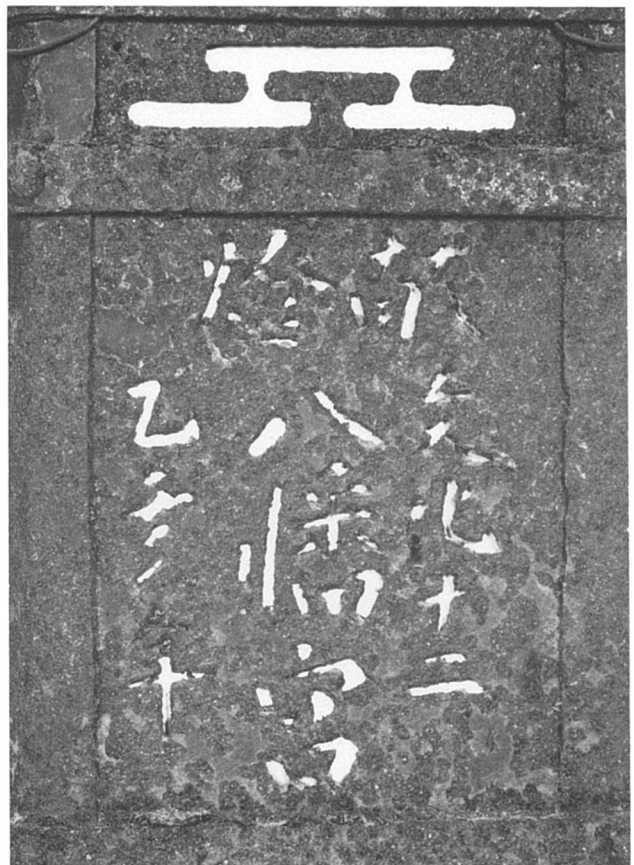
同 上面



69 釣燈籠



同 火袋扉銘文

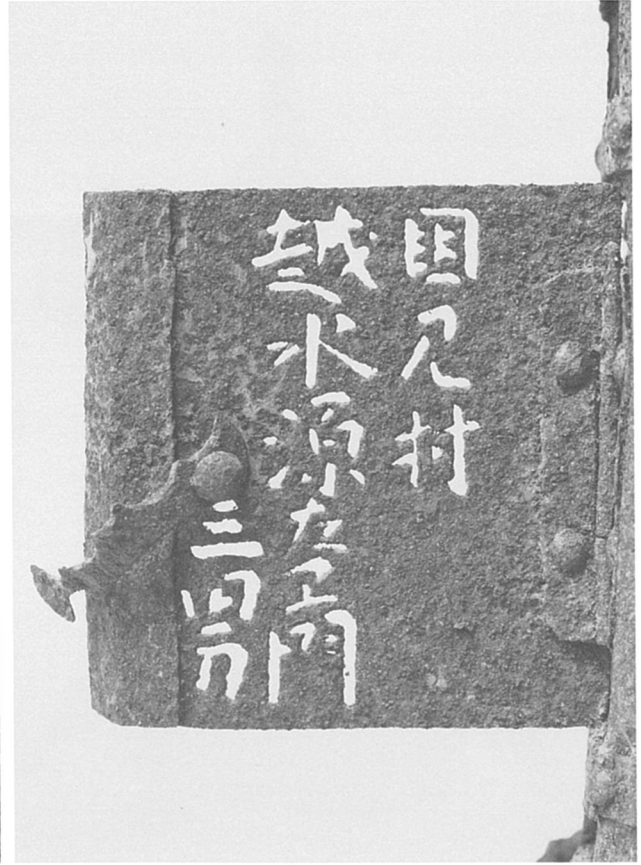


同 火袋銘文

大岩地区(八幡神社2)



同 火袋銘文



同 火袋扉銘文

大岩地区(大北地藏堂)



73 地藏菩薩立像



74 鱧口



75 阿弥陀如来立像



76 七高祖像



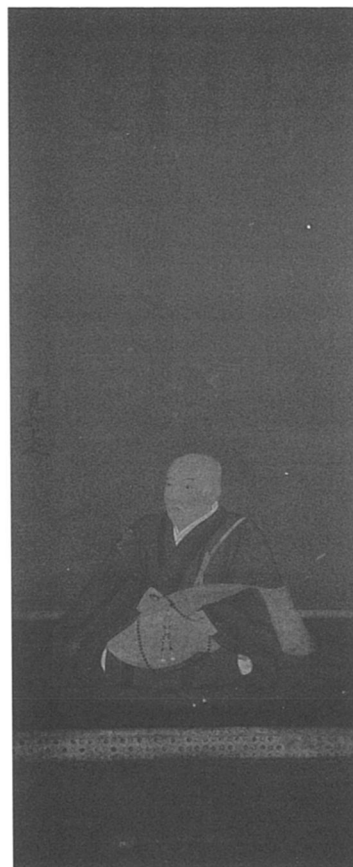
77 聖徳太子像



78 親鸞聖人像



79 蓮如上人像



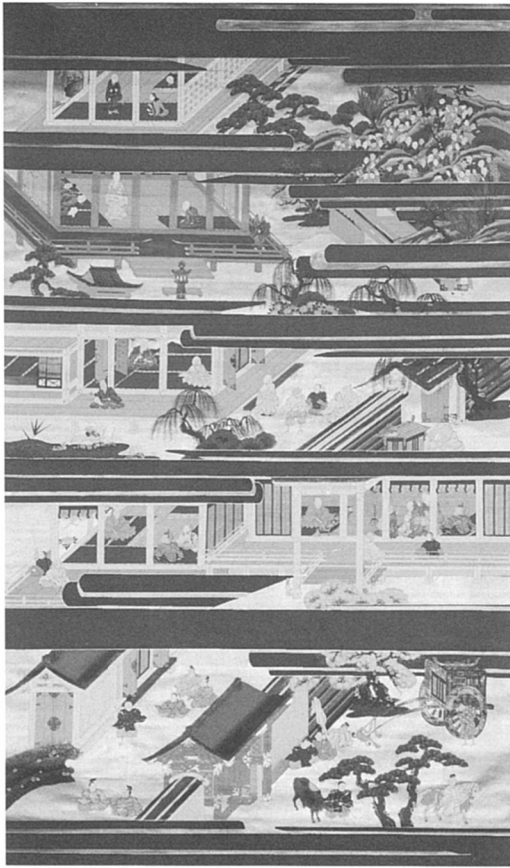
80 良如上人像



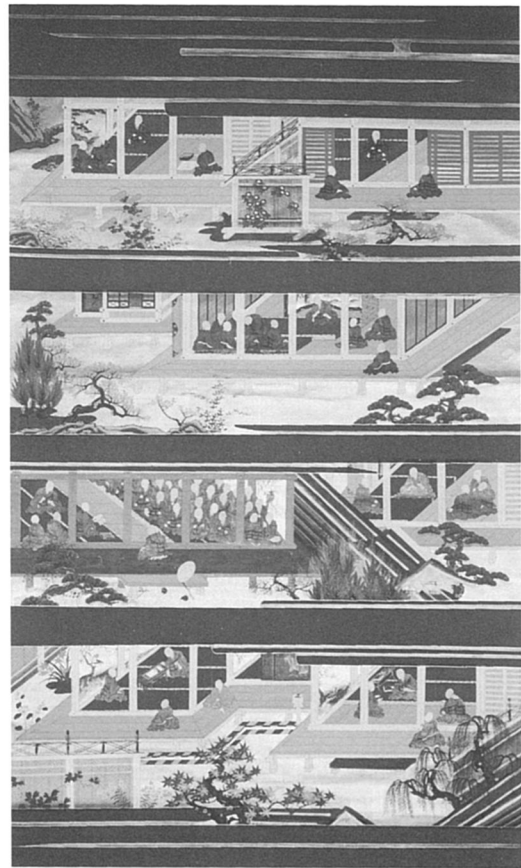
81 六道絵（等活地獄）



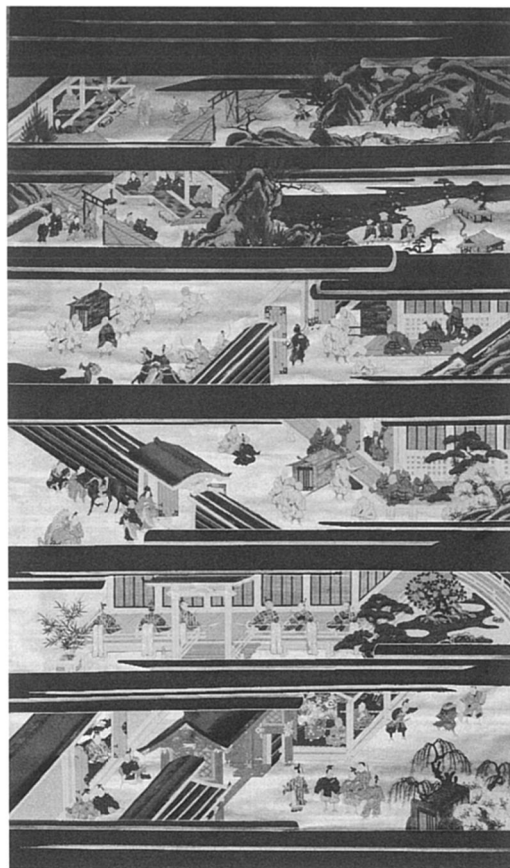
同（人道不淨相）



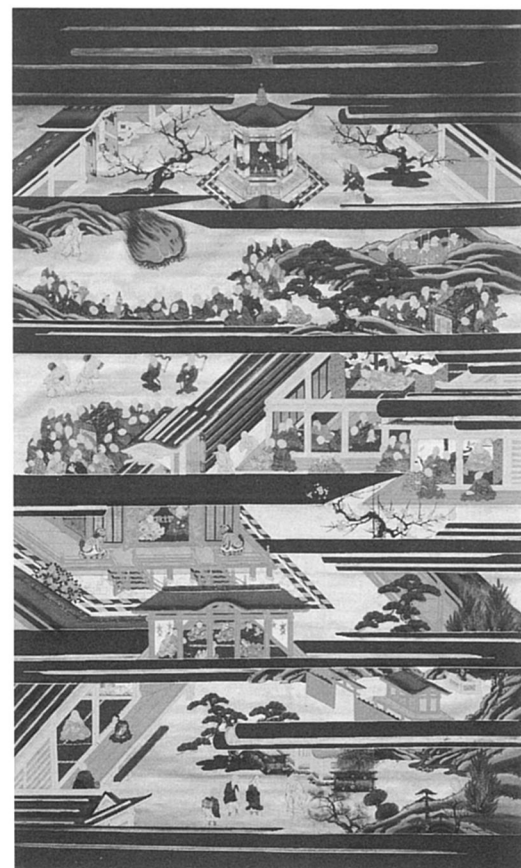
82 親鸞聖人絵伝 (第1幅)



(第2幅)



(第3幅)

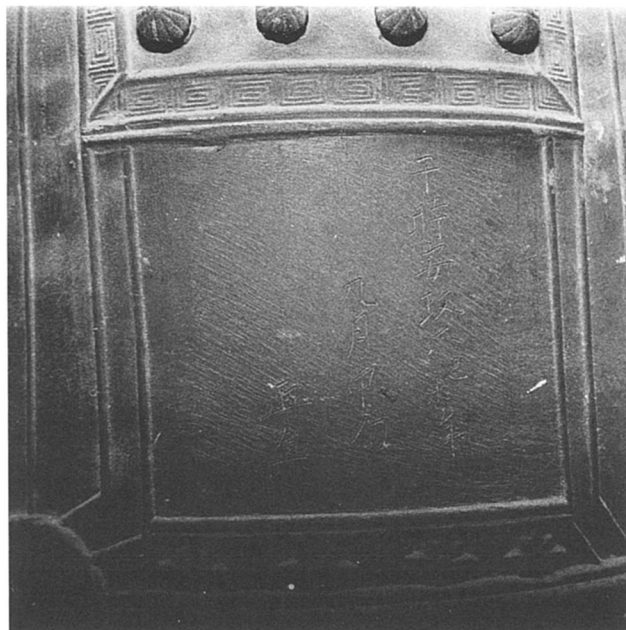


(第4幅)

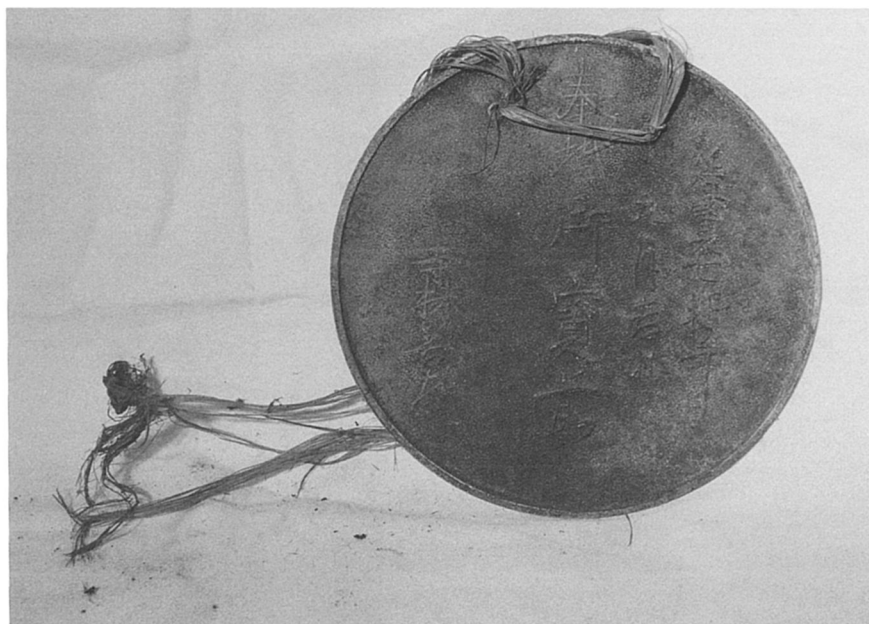
車作地区 (法林寺4)



83 喚鐘



同 池の間陰刻銘



85 鏡

IX. 石造物部門

第1章 概要

安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査において、(財)元興寺文化財研究所(担当・藤澤典彦)は金石文・石造物の調査を担当した。金石文のうち、金工品の類は美術工芸品の調査部門が担当したため、当班は石文の部分、要するに石造物の調査を実施した。石造品でも銘文の在る物だけという事になると数量的にも少ないので、無銘の遺品にも調査対象を広げて調査を実施した。調査の対象にしたのは、墓石・石仏類では室町時代に遡るものに限定し、その他の記念物的性格の石造品については江戸時代以降のものも対象とした。近世墓標も部分的に調査を行った。

本調査は、担当者以外に(財)元興寺文化財研究所の岡本広義、高橋平明、そして牧伸行(当時・仏教大学大学院生)、杉浦隆支(当時・奈良大学学生)の協力を得、また地元の多くの方々のご協力を得たことに感謝するものである。

第2章 年度別調査概要

第1節 平成3年度調査(大岩地区・忍頂寺地区)

大岩地区と忍頂寺の調査を実施した。大岩地区では円福寺・大歳神社・地藏堂・八幡宮・墓地二カ所・路傍の石造品を調査した。

1. 円福寺 No.1～No.6

工芸品では梵鐘と半鐘がある。梵鐘は昭和44(1969)年の紀年銘がある。半鐘の方は無紀年だが江戸時代のものと考えられる。石造品では五輪塔の残欠が諸処に積み上げられている。これらはいずれも室町時代中期以降のものである。

2. 大歳神社 No.7～No.14

石燈籠は正保3(1646)年の1基が最も古く、他に享保4(1719)年のものが1基、享保19(1734)年銘のもの1対がある。正保3年のものと享保4年のものは同形式である。享保のものには、わざわざ、「石燈籠 一基」の銘がある。この時期、石燈籠は普通は1対で奉納されるのが一般的であり、正保のもの1対にするために、形式を合わせて作ったものであろう。

鳥居が元禄3(1690)年の紀年銘を有す。狛犬は文久3(1863)年で幕末のものである。石造品では17世紀中頃から近世的なものがみられはじめ、元禄年間に中世的なものが払拭されて近世的なものに入れ替わる。これは近世社会の動向と結びついた動きと考えてよく、村落レベルでは石造品の寄進は近世村落の確立と深い関係にある。この正保石燈籠の銘文は「奉修御寶前石燈籠／撰州嶋下郡大岩村諸檀那寄進畢／正保三年 丙一戊 霜月吉日」とあり、この時期に村落が確立した記念の意味合いを有するものと考えてよいだろう。次いで鳥居→狛犬と石造品の寄進が続くが、この様な寄進のパターンは畿内の村落レベルの神社では一般的なものであり、この地区の近世の展開もその例にもれないということになる。

3. 八幡宮 No.15～No.27

工芸品としては半鐘が1口ある。江戸時代のものであろう。石造品では大型の五輪塔1基が目される。文安3(1446)年の紀年銘を有する。銘文は、

八万四千人

勸進沙門

権少僧都円□

文安三年丙寅三月日

とあり、この塔を作るのに八万四千人の人々に勸進したことがわかる。八万四千という数字は、釈迦の遺骨をアショカ王の時代に八万四千の塔に分舎利したことにちなむもので、多数作善としての仏塔を作る場合の単位の一つである。この五輪塔の造立に際しては、舎利ということが強く意識されていることが知られる。このタイプの大型五輪塔は、畿内中心部においては、南北朝以降村落レベルで墓地の総供養塔として、あるいは祖先の供養・村落の安穩を願って作られることが多く見られる。本塔もこの例に倣うものであろう。

鳥居は無銘のものと昭和40(1965)年のものと2基ある。無銘のものは古い様相を見せており、江戸初期に遡る可能性がある。

石燈籠は、正保3(1646)年のもの1対、宝永2(1705)年のもの1対、文化12(1815)年のもの1対、安政7(1860)年のもの1基、がみられる。正保3年のものには「摂州嶋下郡国見邑／□□檀那衆□□／正保三年丙戌仲秋吉日」の銘文があり、村の檀那衆の寄進であることがわかる。1対の片方は銘文がなく、火袋の形状がやや異なり後補と考えられる。正保には1基のみ寄進されたものと考えられる。このあり方、及び正保3年という紀年も、そして檀那衆の寄進であるということなどは、先述の大歳神社の石燈籠と共通し、両者が連携した一連の営みであったといえる。狛犬は、天保15(1844)年の寄進である。これも幕末に多いという傾向に一致している。

4. 墓地 No.28～No.37

墓地は大岩地区内に大北墓地・国見墓地の2カ所がある。大北墓地は墓地内に圭頭状一尊像が5例、阿弥陀如来像3例、五輪塔残欠等が見られる。いずれも室町時代末期のものである。

国見墓地には室町時代のものは見られなかった。江戸時代のものとしては、前机が「元禄四辛未歳／三月日／国見」の銘文を有す。墓地形成時期に墓地設備として国見の村が作ったものであり、国見における墓地形成時期を示すものと考えられる。

5. その他 No.38～No.84

地藏堂には17基の石仏と五輪塔火輪・一石五輪塔がみられる。石仏は、室町末期から江戸時代極初期のものであり、本来は近くに散在していたものが集められたものである。一石五輪塔は空風輪だけが彫られていて、他の彫成は省略されている。一石五輪塔の未製品であるか、宝珠塔とすべきものである。

歯痛地藏・中氏宅裏(大北)・長谷川氏宅(横)・国見集会所前等に石仏が散在している。これらの石仏は室町末期から江戸時代極初期のものであり、これら石仏が村内各所に散在していることはこの時期に一つのまとまった墓地は成立せず、屋敷の裏等の近くに墓地を営んでいたことを示しているだろう。畿内でも山間部ではその様な例が多く見受けられる。江戸時代になってから国見墓地の前机に見られるように墓地を形成したと考えてよいだろう。

道標類としては尾崎氏宅(国見)には「左妙見」とあり、^{まどでん}的田の燈籠には「常夜燈 他力 能勢妙見

八大龍王／往来安全／元治二丑歳四月建之」とみられ、また国見集会所前の道標には「右 あなう／左 さく山 道」とある。妙見は能勢妙見であり、あなうは穴太寺のことで、いずれも参詣・巡礼の道の往来安全を祈るものとして機能していたことがわかる。

6. 忍頂寺 No.85～No.95

忍頂寺では元亨元（1321）年銘の大型五輪塔が注目される遺品である。総高227.0cmあり、地輪の一面全体に大きく、

元亨辛酉

七月十五日

金剛仏子

定盛

とある。火輪軒裏には垂木形を彫り出すなど、極めて装飾に富んだ意匠となっている。

その他、境内には室町末期の石仏類や江戸時代の一石五輪塔等がみられる。一石五輪塔には元禄元（1688）年の銘文のあるものがみられる。

第2節 平成4年度調査（桑原地区）

桑原地区の調査を行った。村中の各地と村の共同墓地の調査を実施した。

1. 道脇小堂 No.96～No.107

今回調査した中で最古のものは、道脇小堂のなかに祀られている石龕阿弥陀如来像である。わずかに上が狭くなる石龕に舟形光背形彫り込みを作り、内部に定印の阿弥陀如来を半浮彫する。像の下には線刻の蓮台がある。屋根及び宝珠が完備している。龕の左右側面には、面落としの月輪に入った梵字のサ・サクが配置されている。サ・サクは観音・勢至であるので全体で阿弥陀三尊を表現したものである。

この小堂の中及び周辺に舟形光背石仏一体、舟形双五輪塔一基、石龕仏一体、板碑形石仏二基、五輪塔空風輪・火輪、一石五輪塔三基、石燈籠宝珠部分等がまとめられてある。

石龕仏は室町前期に遡る可能性のあるもので、遣りもよく貴重な遺品である。

2. 桑原共同墓地 No.108～No.272

(1) 墓地設備 No.109～No.113

墓地の入り口に、墓地全体にかかわるものとして地藏立像一体（江戸時代）と六地藏板碑が小堂の中に安置されている。そして、墓地中央に、迎え仏と供物台と蓮華形棺台が配置されている。地藏立像は砂岩製であり、江戸時代前期末頃のもので、六地藏板碑は江戸初期のものと考えられる。

墓地中央の迎え仏は定印の阿弥陀で、舟形光背の両脇に梵字のサ・サクが配されている。阿弥陀三尊を表現したものである。室町でも初期のものと考えられる。この墓地が開かれた時点の遺品と考えて良い。迎え仏が乗っている台は供物台である。おそらく、蓮華形棺台と一緒に作られたものではないかと考えられる。蓮華形棺台は明治以降の近代のものであることが「大阪市………」とある銘文からわかる。あと一つ、墓地内に半ば埋もれた様にして供物台が一つみられる。江戸時代のものであろう。

その他の石造品としては、室町中～後期の石塔残欠が少々と一石五輪塔数基、舟形光背石仏と板碑形石仏がみられるが、近世の墓標類は1点みられるだけで、それ以外は近代以降の墓標である。

(2) 石塔類 No.114～No.133

五輪塔では空風輪が8点と、火輪が4点と水輪1点で、地輪が1点もみられない。

宝篋印塔では塔身が1点みられる。これも上部に後から穿たれた小判形の穴がある。室町時代の遺品であるが江戸時代に入ってから線香立てに転用されたものである。

一石五輪塔は7基みられるが、形態から大きく3タイプに分類できる。年代的には16世紀後期から江戸初期にかけてのものと考えられる。

(3) 石仏類 No.134～No.271

石仏類では、石龕仏の系譜を引くものと、板碑塔身に像容を彫り出す板碑形石仏と、光背と石仏を一石で作る光背石仏に大きく3分類される。

石龕仏はNo.178にみられるだけであるが、屋根部分と軸部とを一石で作るもので、奈良県地域では屋根と軸部別石のものが多くみられる。板碑形石仏は細部表現から数種類に分類できる。

まず塔身部分では、

- I. 龕状の彫り込みを設けるもの。
- II. 龕状彫り込みのないもの。

圭頭部の形では、

- a. 板碑の圭頭部の額部条線の彫り込みが明確になされているもの。
- b. 額部彫り込みがなくなり、額部が屋根の軒端様の表現になるもの。
- c. 軒端表現が無くなるもの。
- d. 圭頭部前面が平坦になるもの。

仏像表現では、

- イ. 仏像・蓮台まで表現するもの。
- ロ. 蓮台の表現が無くなるもの。
- ハ. 仏像の膝部分の下部分の表現が無くなるもの。
- ニ. 仏像の膝部分全体の表現が無くなるもの。

いずれもI→II、a→b→c→d、イ→ロ→ハ→ニの動きは、基本的には経時的な変化である。その他仏像の彫り出し方では深い彫りから次第に浅い彫りにかわっていく方向があり、また板碑塔身部分は次第に細長く、根部分が深いものに変化していく方向がみられる。

これらの要素が絡みあって個々の遺品があるわけで、これらの要素を並べるとその編年が可能になるが、あくまでもこれは相対年代であり、紀年銘遺品が無い状況では絶対年代に置き換えることは困難である。他地域の紀年銘遺品とのすり合わせが必要となろう。

光背石仏は、上記の板碑形石仏の仏像表現イ→ロ→ハ→ニと同じ変化を示すが、さらに顔の輪郭が丸いものほど古く、新しいものはやや細面になる傾向がみられる。彫りが深いものから浅いものへの変化も同じである。光背面を凹面状にした彫込光背内に仏像を浮彫するタイプもみられる。この変遷は室町時代後期～江戸初期の中での変遷ということになる。

(4) 小結

以上、この墓地の石造品の簡単な概要を述べたが、室町初期にこの墓地が開かれ、そのときに迎え仏が作られ、室町時代を通じて墓地として使用された。それらは、室町時代の迎え本尊と、室町期五輪塔残欠の存在からわかる。さらに、室町後期には、板碑形石仏・光背石仏が多数みられ、墓地が村落の下の階層にまで使用されたことが窺える。

しかし戦国末から江戸初期にこの墓地は大きな転換を迎える。それは、近世墓標が1点しかみられない点からいえる。迎え仏が機能し続けていること、近世初期の六地藏板碑と江戸前期の地藏立像の存在から、ここは埋墓として機能し続け、詣墓が地福寺の方に設定されたと考えられる。地福寺墓地については後述する。

第3節 平成5年度調査（桑原地区）

桑原地区の調査を昨年度に引き続いて行った。地福寺と同寺墓地の石造品の調査を実施した。

1. 地福寺 No.273～375

今回調査した中で最古のものは、五重層塔である。相輪が折れているだけで、ほぼ完形である。基礎に、

敬白

奉立石塔一基

徳治参年戊申参月十九日

願主□□□

某□□

の銘文がある。徳治3年は、西暦1308年に当たる。総高255.0cmの層塔としては比較的小型の塔であるが、初層軸部は四面に四方仏を刻み、屋根部は軒裏に垂木形を彫り出すなど丁寧な作りの塔で、遣りもよく貴重な遺品である。

層塔に続く時期の遺品としては、地藏堂の前の五輪塔地輪がある。四方に梵字アの展開が見られる。線はやや細いが梵字の大きさは大きく、彫られた場所も地輪の中央に位置し、室町時代も古い時期の、あるいは、南北朝に遡る可能性もある。それ以外には室町時代の五輪塔残欠が数点見られる。

次に注目すべき遺品は、天正8（1580）年の紀年銘を有する自然石六地藏板碑と、その翌年の天正9（1581）年の紀年銘を有する自然石十三仏板碑の2点である。いずれも彫り方に共通点が多く、同一作者の手になるものと考えられる。造立主体はこの地域の念仏講などの集団と考えられるが、この2基がそれらの集団が村落内に形成されたことを示す記念的の遺品といえる。この時期以降の遺品が元和9（1623）年銘の三界萬霊碑や梵字パンや梵字アを刻した板碑である。この2基は形は少し異なるが1対のものであろう。そしてこれらは墓地全体の供養に関わる遺品である。個人の供養に関わる遺品としては、一石五輪塔と複数基の五輪塔を浮彫した板碑などがある。これらは、天正から江戸初期の間に造立されたものと考えられる。近世に入る時期のものではあっても、その造形には中世の痕跡を色濃く遺しているといえる。

ついで注目すべきものは、延宝6（1678）年の三界萬霊供養塔である。舟形板碑であるが、これがこの墓地が近世的展開を遂げるきっかけになる遺品といえる。個人の供養塔ではなく、墓地全体の供養にかかわる遺品である。この時点以降墓塔が圭頭碑あるいは屋根型・櫛形・方柱の近世的なものに変化していく。

2. 小結

以上、この地福寺墓地の石造品の簡単な概要を述べたが、この墓地の変遷は、現在の村の墓地と一体にして考えねばならない。（以下、寺の墓地を寺とし、現在の墓地を墓地と呼ぶ。）

室町初期に墓地が開かれ、そのときに墓地の迎え仏が作られ、室町時代を通じて墓地として使用されたが、江戸初期で墓地は大きな転換を迎える。しかし、迎え仏が機能し続けていること、近世初頭の六地藏板碑と江戸前期の地藏立像があるので、当時、ここは埋葬として機能したと考えられる。そして詣墓は地福寺の方に移転したと考えられる。その移行開始時点が天正の時期であろう。しかし、この時期以降は墓地にも寺にも遺品が見られるのであり、近世的な両墓制への転換期と位置づけられるだろう。

両墓制が完全に成立するのが延宝の三界萬霊供養塔の時点とすることができるだろう。それは、墓地には近世墓標が一点しかみられない点からもいえる。近畿地方に色濃くみられる両墓制の展開の中にこの地も巻き込まれたことを、墓地の石造品は明瞭に語っている。近代以降の石造品は、寺には寺僧の墓所以外にはなく、墓地の方に近代の棺台が見られ、この時期以降、詣墓と埋葬とが一体化したことを示している。この寺と墓地の石造品の展開は、中世以降の墓制展開の典型を示している。

第4節 平成6年度調査（車作地区）

車作地区の調査を行った。六坊塚周辺と清水墓地の石造品の調査を実施した。

1. 六坊塚 No.376～No.379

谷間にある大きな自然石を六坊塚と称しているようである。自然石の上に、六坊塚碑が立てられている。正面に、

梵字（バン）六坊塚

と刻んである。

自然石の正面に、竿の上に乗った蓮台形の手水鉢があり、竿正面に「奉納」と刻む。蓮台前面には蓮弁を三枚刻む。背面部分の蓮弁は省略され、孔を穿つ。あと方柱の花立てが1対みられる。それぞれに「奉」「納」と一字ずつ刻む。紀年銘が一切無く、何時頃から祭祀が行われているのかわからないが、江戸後期のものと考えられる。

2. 清水墓地 No.380～No.400

この墓地で最古の遺品は「康正二……」の紀年銘がある八角柱で、下部は欠損している。用途は不明確だが、石燈籠の竿石かと考えられる。康正2年は1456年にあたり、きわめて古い遺品となる。この墓地では他にその時期まで遡る遺品は全くみられず、他の遺品との関連が問題となる。続く遺品としては、室町時代の五輪塔水輪が1点みられる。

石仏類は、安威川流域の墓地に普遍的にみられるような遺品ばかりである。いずれも桃山時代から江戸初期にかけてのものである。形態的には板碑形のものや光背石仏形のものに分類される。板碑形といっても碑身に仏像を彫り込んだもので、板碑と石龕との中間的なものである。碑身本体まで仏像を彫り込んで、龕状に側壁（柱）部分まで表現されているのがやや古く、その様な表現のないものがやや時代的に降るといえるであろう。像容は、ほとんどが定印の阿弥陀坐像である。

光背石仏は、光背先端を尖らせたものと、平坦にしたものとに分類される。平坦にしたものも、やや細身のものや幅の広いものとに分類されるが、いずれもあまり年代的な幅は無いと考えられる。これも、像容はいずれも定印阿弥陀である。阿弥陀石仏が圧倒的に多いということが、この地域の特徴といえるだろう。

近世の遺品は、文政12（1829）年、安政6（1859）年までみられず、幕末までは忘れられた墓所であっ

たとえられる。中世末で一旦切れる墓地の典型的なあり方を示しているといえるだろう。

第5節 平成7年度調査（生保地区）

生保地区の調査を行った。調査場所は、諏訪神社境内、観音堂、正覚寺、生保墓地と水源地の5ヶ所であった。

1. 諏訪神社 No.401～No.406

元禄15（1702）年と寛延4（1751）年銘の石燈籠2対と、明治5（1872）年の鳥居、近代の手水鉢とがみられた。

2. 観音堂 No.407～No.419

観音堂脇には石仏・石塔が集められているが、石仏では室町期の光背石仏1軀と、桃山期の光背石仏4軀がみられた。石塔では、室町前期に遡る五輪塔の残欠（火輪2、水輪1）と、桃山期の像容板碑3基がみられた。堂内には江戸時代の鉄製の鰐口と貞享3（1686）年銘位牌とがみられた。

3. 正覚寺 No.420～No.433

正覚寺では、五輪塔の残欠（火輪5、水輪2、地輪1、一石五輪塔残欠1）がみられた。これらは、幅で35cm前後のものと、30cm前後のものに分類できる。前者は室町前期から中期のもの、後者は室町中期から後期にかけてのものである。一石五輪塔は桃山期のものである。その他、手水鉢・半鐘・鬼瓦各1点を調査した。

4. 水源地 No.434

桃山期の光背石仏1点があった。

5. 墓地 No.435～No.440

墓地施設として迎え仏（丸彫阿弥陀？立像）・前机がみられ、墓石としては江戸時代のものが4点みられる。他は近代以降のものである。江戸時代のもので最古のものは、天明6（1788）～天明8（1788）年のもので、他は文化5（1808）年、寛政13（1801）～文政4（1821）年、文政2（1819）～天保4（1833）年とがみられる。いずれも、戒名に釋○○とあり真宗にかかわるものである。

6. 小結

他地域と比べて、安威川の谷の入り口に位置するという生保地区の立地と関係するかもしれないが、五輪塔では他地域に比してやや古いものが目についた。近世では貞享3（1686）年銘位牌と元禄15（1702）年銘石燈籠が古いもので、桃山期の石仏以降、約100年弱の遺品が見あたらない。墓地に関しては墓標が極めて少なく、他地域より近世的開発が遅れたことを示すようである。

金石文調査資料（大岩地区）No. 1

(No. : 写真図版番号に対応)

No.	所在地	資料名称	総高	幅・彫高	幅・厚	厚・産	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考
1	茨木市大岩 円福寺	梵 鐘	135.0		73.5		昭和	昭和44	1969	2	1 2	南無阿弥陀佛 正覚大音響流十方 龍岩山円福寺 第九世住職釋寂法 施主阪 数義 妻 房枝 阪 卯一郎 林 美義 阪 季義 阪 忠義 梅田 巖 阪 勝 昭和四十四年二月十二日 鋳匠京都市岩澤徹成	
2		半 鐘	54.8		33.8							飛切	
3		五輪塔残欠寄せ集め					室町						
4		五輪塔残欠寄せ集め					室町						
5		五輪塔水輪					室町						
6		五輪塔残欠寄せ集め					室町						
7	茨木市大岩 大蔵神社	石燈籠	211.5				江戸	正保3	1646	霜	吉	奉修御寶前石燈籠 摂州嶋下郡大岩村諸檀那寄進畢 正保三年丙戌霜月吉日	向って右
8		石燈籠	208.0				江戸	享保4	1719	6	1 1	石燈籠 一基 享保四己亥年六月十一日	向って左
9		石燈籠	199.5				江戸	享保19	1734	1 1	吉祥 日	石燈籠 両基 大西氏 享保十九甲寅歲十一月吉祥日	向って右
10		石燈籠	194.0				江戸	享保19	1734	1 1	吉祥 日	石燈籠 両基 大西氏 享保十九甲寅歲十一月吉祥日	向って左
11		鳥 居	324.0				江戸	元禄3	1690		1 6	奉寄進 下郡大岩邑之英靈午頭天王 □□天皇御寶前 為村内 □□石作 元禄三庚午□文月十六日 氏子中	
12		狛 犬	160.0	80.5			江戸	文久3	1863	霜		奉納 氏子若中 文久三亥星 霜月中旬 世話人 坂源兵衛	向って右
13		狛 犬	163.0	79.5			江戸	文久3	1863	霜		奉納 氏子若中 文久三亥星 霜月中旬 世話人 坂源兵衛	向って左
14		手水鉢	35.7		70.7	43.4	江戸						
15	茨木市大岩国 見 八幡宮	半 鐘	50.5		30.8		江戸						
16		五輪塔	212.0				室町	文安3	1446	3		復して改刻 八万四千人 勸進之沙門 權少僧都円□ 文安三年丙子三月日	
17		石燈籠	166.0				江戸	正保3	1646	仲秋	吉	摂州嶋下郡国見邑 □□檀那衆□□ 正保三年丙戌仲秋吉日	向って右
18		石燈籠	166.0										向って左、 無銘
19		石燈籠	174.0				江戸	宝永2	1705	正	1 5	八幡宮御寶前 奉寄進石燈籠 宝永二年正月十五日 国見邑	向って右
20		石燈籠	176.0				江戸	宝永2	1705	正	1 5	八幡宮御寶前 奉寄進石燈籠 宝永二年正月十五日 国見邑	向って左
21		石燈籠	203.0				江戸	文化12	1815			八幡宮 文化十二歳次乙亥 摂州国見村越水源三衛門男 浪速住松本屋長兵衛	
22		石燈籠	201.5				江戸	文化12	1815			八幡宮 文化十二歳次乙亥秋日 摂州国見村越水源三衛門男 浪速住松本屋長兵衛	
23		石燈籠	342.0				江戸	安政7	1860	正		奉獻 八幡宮 安政七歳庚申正月建之 氏子中 (額銘) 八幡宮	
24		鳥 居	197.5										
25		鳥 居	289.0				昭和	昭和40	1965	1	吉	奉納 昭和四十年一月吉日建之 辰見安治郎 妻 房子	
26		狛 犬	127.0	64.5			江戸	天保15	1844	正	吉	奉納 天保拾五歳 辰正月吉日 辰巳四良兵工	向って右
27		狛 犬	128.0	64.5			江戸	天保15	1844	正	吉	奉納 天保拾五歳 辰正月吉日 辰巳四良兵工	向って左
28	茨木市大北 大北墓地	墓地風景											
29		五輪塔火輪	14.5		25.0	25.0	室町						火輪
30		方柱状石龕仏	104.5	25.0	36.0	29.0	江戸						二面を彫込 み阿弥陀坐 像を刻む

金石文調査資料（大岩地区）No. 2

No	所在地	資料名称	総高	最・高	幅・高	厚・高	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考
31	茨木市大北 大北墓地	板碑形石仏（不明）	46.5	16.0	24.0	13.0	室町						
32		板碑形石仏（不明）	46.0	15.0	23.5	12.0	室町						
33		板碑形石仏（不明）	50.5	13.0	20.5	8.0	室町						
34		板碑形石仏（不明）	37.0	10.5	15.0	8.5	室町						
35		光背石仏（不明）	39.0	18.0	18.0	16.0	室町						
36		光背石仏（阿弥陀）	58.0	27.0	27.0	20.0	室町						
37	茨木市大岩 国見墓地	前机	68.0		132.8	66.8	江戸	元禄4	1691	3		元禄四辛未歳 三月日 国見	
38	茨木市大岩 中の谷	板碑形石仏（不明）	44.0	18.0	23.0	8.5	室町						
39		光背石仏（阿弥陀）	34.0	17.5	22.5	8.0	室町						
40		光背石仏（二尊）	42.0	14.0	25.5	9.0	室町						
41		光背石仏（阿弥陀）	50.0	25.0	25.5	12.0	室町						
42		光背石仏（阿弥陀）	38.5	26.0	21.5	10.0	室町						
43	茨木市大岩 円福寺下路傍	板碑形石仏（二尊）	52.0	18.0	33.0	13.5	室町						
44	茨木市大岩 中田氏宅下	板碑形石仏（不明）	42.5	15.5	18.0	12.5	室町						
45	茨木市大岩 井上氏宅横	光背石仏（阿弥陀）	35.5	22.0	21.5	9.5	室町						
46		光背石仏（阿弥陀）	33.0	20.0	21.0	7.0	室町						
47		光背石仏（阿弥陀）	41.0	25.0	26.0	14.0	室町						
48	茨木市大岩大 北地蔵堂	五輪塔火輪		11.5	23.0	23.0	室町						火輪
49		一石五輪塔		44.0	12.0	10.0	室町						火輪より下 を刻んでい ない
50		板碑形石仏（不明）	39.0	16.0	22.5	12.5	室町						
51		板碑形石仏（不明）	*29.5	12.5	18.0	11.0	室町						
52		板碑形石仏（不明）	45.0	13.0	16.0	11.0	室町						
53		石龕阿弥陀如来像	40.5	19.0	28.0	14.0	室町						
54		光背石仏（不明）	41.0	20.5	23.0	10.0	室町						
55		光背石仏（阿弥陀）	57.0	41.0	39.0	17.0	室町						
56		光背石仏（阿弥陀）	45.5	22.0	12.5	26.0	室町						
57		光背石仏（阿弥陀）	41.0	24.5	13.5	23.0	室町						
58		光背石仏（阿弥陀）	42.0	24.5	13.0	23.5	室町						
59		光背石仏（不明）	48.0	25.0	26.5	13.0	室町						
60		光背石仏（阿弥陀）	40.0	19.5	22.5	10.0	室町						
61		光背石仏（阿弥陀）	37.0	17.5	20.0	12.0	室町						
62		光背石仏（不明）	35.0	14.5	21.5	12.0	室町						頭部欠損
63		光背石仏（阿弥陀）	40.0	27.0	24.0	12.0	室町						
64		光背石仏（阿弥陀）	39.5	16.0	25.0	12.0	室町						
65		光背石仏（不明）	48.0	22.0	17.0	25.0	室町						
66		光背石仏（阿弥陀）	45.0	21.0	27.0	10.0	室町						
67	茨木市養烟 歯痛地蔵	光背石仏（阿弥陀）	141.0	36.5	47.0	40.0	室町						通称歯痛地 蔵。板石を 屋根風に載 せる
68		板碑形石仏（不明）	49.5	13.5	18.3	13.0	室町						
69		板碑形石仏（不明）	38.0	11.0	15.0	8.5	室町						
70		板碑形石仏（不明）	*16.0	*7.5	16.5	10.5	室町						下半分欠失
71		光背石仏（阿弥陀）	39.0	20.5	25.5	11.5	室町						
72		光背石仏（阿弥陀）	35.0	18.5	30.0	11.0	室町						
73		光背石仏（阿弥陀）	50.5	21.0	26.0	18.0	室町						
74	茨木市大北 中氏宅裏小祠	五輪塔火輪		11.5	22.5	22.5	室町						
75		板碑形石仏（不明）	*33.0	12.0	18.5	7.0	室町						
76		光背石仏（阿弥陀）	39.5	22.5	24.5	10.0	室町						
77		光背石仏（阿弥陀）	36.5	16.0	26.0	11.0	室町						
78	茨木市大岩的 田	石燈籠	274.0				江戸	元治2	1865	4		常夜燈 他力 元治二丑歳 四月建之 能勢妙見 八大龍王 往来安全 (人名多数)	
79	茨木市大岩的 田 大西正治宅横	光背石仏（地蔵）	44.0	31.5	23.5	16.0							
80	茨木市大岩国 見 小崎氏宅	道標	*24.0		12.5	12.5						左妙見□二	下部欠損
81	茨木市大岩国 見 集会所前路傍	道標	82.0		21.7	21.7						右 あなう 道 左 さく山	
82		道標	138.5		26.3	26.3	大正	大正5	1916	3		八大龍王山 廿四丁 大正五年三月 大阪有志中 发起人光玉 木村	
83	茨木市大岩国 見 集会所横	石燈籠	235.0				江戸	文久3	1863	8		世浪□ 話海□□ 人四良左衛門 奉納花□宮 奇助治郎	

《このレコードは次ページに続きます。》

金石文調査資料（忍頂寺・桑原地区）

No.	所在地	資料名称	総高	像・彫 幅・高	厚・深	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考	
											附 初藏 人 文久三年癸亥八月		
84	茨木市大北 長谷川氏宅横	板碑形石仏（不明）	*30.5	14.5	21.5	13.0	室町					下部欠損	
85	茨木市忍頂寺 忍頂寺	五輪塔	227.0				鎌倉	元亨元	1321	7	15	夜ふての 元亨辛酉 七月十五日 金剛佛子 定盛	
86		一石五輪塔	*53.5		15.5	15.5	江戸				29	廿九日	地輪高32.5 cm
87		一石五輪塔	*72.0		18.8	18.8	江戸	元禄元	1688		11	元禄元年 法師 月十一日	地輪高31.0 cm
88		一石五輪塔	*62.5		14.2	13.5	江戸						地輪高30.0 cm
89		無縁塚											
90		光背石仏（阿弥陀）	57.0	37.0	32.0	23.0	室町						
91		光背石仏（阿弥陀）	54.0	25.5	29.0	13.0	室町						
92		石龕二尊像	53.5	21.0	47.5	21.0	室町						
93		石龕三尊像	66.0	21.0	43.0	16.5	室町						像高は中尊 をはかる
94		光背石仏（二尊）	60.5	15.0	39.5	10.0	室町						
95		光背石仏（地藏）	138.0	83.5	59.0	30.0	江戸	延享2	1745	5	14	中興四世法印深海和尚 延享二乙丑年五月十四日 七十二	
96	茨木市桑原 道脇小堂	五輪塔火輪・空風輪	23.5		33.0		室町						法量は火輪 を載せる。 空風輪高23 .0cm、幅17 .5cm
97		五輪塔空風輪	27.5	20.0			室町						宝珠、ホソ 高6.0cm
98		一石五輪塔	44.0	11.0			桃山						地輪高16.5 cm
99		一石五輪塔	44.5	11.5			桃山						地輪高20.0 cm
100		一石五輪塔	48.0	14.8			桃山						地輪高12.5 cm
101		一石五輪塔	53.0	14.5			桃山						地輪高23.5 cm
102		双五輪塔板碑	*50.0	30.0	40.0	14.5	江戸						右塔高41.0 cm
103		石龕阿弥陀如来像	124.0	46.5	40.5	30.0	室町						笠幅61.5cm 、笠厚39.5 cm
104		石龕阿弥陀如来像	38.0	22.0	26.5	10.0	室町						
105		板碑形石仏（阿弥陀）	45.5	14.5	20.0	11.0	桃山						
106		板碑形石仏（阿弥陀）	42.8	15.5	19.0	10.0	桃山						
107		光背石仏（阿弥陀）	67.5	30.0	31.5	19.0	桃山						
108	茨木市桑原 桑原墓地	桑原墓地風景											
109		自然石一石六地藏菩薩 像	120.5	17.0	71.5	31.5	江戸						上部に像高 17.5cmの地 蔵菩薩坐像 彫込む
110		丸彫地藏菩薩像	126.0	109. 0			江戸						蓮台径40.5 cm
111		棺 台	35.0		78.5		明治				大阪市 奥田由太郎 為供養造之	台高25.0cm	
112		前 机	75.0		114. 0	58.0	江戸						
113		供物台	*45.0		120. 0	68.5	江戸						
114		五輪塔空風輪	23.0		16.0		室町						
115		五輪塔空風輪		22.5	15.5		桃山						
116		五輪塔空風輪		18.0	16.5		桃山						
117		五輪塔空風輪		23.0	16.0		桃山						
118		五輪塔空風輪	19.0		15.0		桃山						
119		五輪塔空風輪	17.0		13.0		桃山						
120		五輪塔空風輪		21.5	14.5		桃山						
121		五輪塔火輪	20.5		31.0		桃山						
122		五輪塔火輪	17.0		28.0		室町						
123		五輪塔残欠寄せ集め	25.0		33.0		桃山						空風輪高19 .0cm、幅13 .5cm
124		五輪塔火輪		16.0	28.0		桃山						
125		五輪塔水輪	18.5		27.0		江戸						
126		宝篋印塔残欠	16.0		16.5	16.5	桃山						塔身、金剛 界四仏の種 字刻む
127		一石五輪塔	*43. 5		16.5		桃山						地輪部埋没
128		一石五輪塔	*43. 0		17.0		桃山						地輪部埋没

金石文調査資料（桑原地区）No. 1

No.	所在地	資料名称	総高	體・高	幅・徑	厚・深	時代	紀年	西曆	月	日	銘文	備考
129	茨木市桑原 桑原墓地	一石五輪塔		30.0	12.5		桃山						地輪高14.0 cm
130		一石五輪塔		53.5	13.5		桃山						地輪高23.0 cm
131		一石五輪塔		*38.0	13.5		桃山						空風輪部欠 損、地輪部 高15.0cm
132		一石五輪塔		*33.0	12.5		桃山						空風輪部欠 損、地輪部 高19.5cm
133		一石五輪塔		51.5	12.0		桃山						地輪高28.7 cm
134		板碑形石仏（阿弥陀）	*63.5	19.0	30.5	17.5	室町						
135		板碑形石仏（地藏）	49.5	15.5	19.5	10.0	桃山						
136		板碑形石仏（地藏）	*43.5	16.5	22.0	15.0	桃山						
137		板碑形石仏（地藏）	*42.0	16.5	23.5	13.5	桃山						
138		板碑形石仏（阿弥陀）	54.0	17.0	21.0	13.0	桃山						
139		板碑形石仏（阿弥陀）	51.5	16.0	20.0	14.0	桃山						
140		板碑形石仏（地藏）	*53.5	18.0	24.0	16.5	桃山						
141		板碑形石仏（阿弥陀）	*36.0	13.0	19.5	13.0	桃山						
142		板碑形石仏（地藏）	59.0	12.0	25.5	12.5	桃山						
143		板碑形石仏（阿弥陀）	45.0	11.5	20.5	14.0	桃山						
144		板碑形石仏（阿弥陀）	45.0	12.5	19.0	13.0	桃山						
145		板碑形石仏（阿弥陀）	48.0	13.5	22.0	16.0	桃山						
146		板碑形石仏（阿弥陀）	54.5	14.0	18.5	13.0	桃山						
147		板碑形石仏（阿弥陀）	43.0	14.5	20.5	9.5	桃山						
148		板碑形石仏（阿弥陀）	51.0	16.5	17.5	11.0	桃山						
149		板碑形石仏（阿弥陀）	49.0	19.0	19.0	12.5	桃山						
150		板碑形石仏（阿弥陀）	47.0	16.0	19.0	12.0	桃山						
151		板碑形石仏（地藏）	40.0	18.0	20.0	13.5	桃山						
152		板碑形石仏（阿弥陀）	44.0	16.5	18.5	11.0	桃山						
153		板碑形石仏（阿弥陀・ 地藏）	46.0	14.5	24.0	12.0	桃山						
154		板碑形石仏（地藏）	41.0	13.5	16.0	9.5	桃山						
155		板碑形石仏（二尊）	66.0	11.5	26.5	19.0	桃山						
156		板碑形石仏（地藏）	51.0	16.0	21.0	9.0	桃山						
157		板碑形石仏（地藏）	53.0	15.3	22.5	10.0	桃山						
158		板碑形石仏（阿弥陀）	47.0	16.0	17.5	8.0	桃山						
159		板碑形石仏（地藏）	40.0	12.0	17.0	10.0	桃山						
160		板碑形石仏（阿弥陀）	58.5	15.3	20.0	10.0	桃山						
161		板碑形石仏（阿弥陀）	*45.5	14.5	19.0	13.5	桃山						
162		板碑形石仏（不明）	56.0	15.0	22.0	10.0	桃山						
163		板碑形石仏（阿弥陀）	39.0	12.5	16.0	11.5	桃山						
164		板碑形石仏（阿弥陀）	38.0	14.0	18.0	10.0	桃山						
165		板碑形石仏（阿弥陀）	*30.0	15.0	19.5	14.0	桃山						
166		板碑形石仏（地藏）	38.0	15.0	19.7	8.5	桃山						
167		板碑形石仏（地藏）	44.0	10.0	18.5	8.5	桃山						
168		板碑形石仏（地藏）	45.0	9.0	20.0	12.0	桃山						
169		板碑形石仏（不明）	56.5	11.5	19.0	12.0	桃山						
170		板碑形石仏（地藏）	42.0	15.0	20.5	8.0	桃山						
171		板碑形石仏（地藏）	42.5	11.0	17.5	8.0	桃山						
172		板碑形石仏（地藏）	45.5	11.5	19.0	10.5	桃山						
173		板碑形石仏（阿弥陀）	41.5	11.0	17.5	10.5	桃山						
174		板碑形石仏（不明）	38.0	12.0	16.5	10.0	桃山						
175		板碑形石仏（阿弥陀）	42.0	12.0	21.5	9.0	桃山						
176		板碑形石仏（阿弥陀）	39.0	10.0	18.0	11.0	桃山						
177		板碑形石仏（不明）	51.0	18.0	21.0	9.0	桃山						
178		石龕仏（二尊）	60.0	13.0	27.0	20.0	室町						
179		光背石仏（阿弥陀）	83.5	51.0	44.5	25.0	室町						迎え本尊
180		光背石仏（阿弥陀）	52.0	39.5	25.5	15.5	室町						
181		光背石仏（阿弥陀）	50.0	32.0	36.0	15.0	室町						
182		光背石仏（阿弥陀）	*51.0	35.5	38.0	13.5	桃山						
183		光背石仏（阿弥陀）	43.0	27.0	27.5	15.0	桃山						
184		光背石仏（阿弥陀）	33.0	16.5	21.5	11.0	桃山						
185		光背石仏（阿弥陀）	*29.3	*21.0	33.5	14.0	桃山						
186		光背石仏（阿弥陀）	47.5	27.5	32.0	16.0	桃山						
187		光背石仏（阿弥陀）	47.0	20.5	21.5	16.0	桃山						
188		光背石仏（阿弥陀）	39.0	21.0	23.5	12.0	桃山						
189		光背石仏（阿弥陀）	45.0	22.5	26.0	13.0	桃山						
190		光背石仏（阿弥陀）	39.5	21.0	25.5	13.0	桃山						
191		光背石仏（阿弥陀）	69.0	25.0	26.0	18.0	桃山						
192		光背石仏（阿弥陀）	*31.0	19.5	23.0	11.5	桃山						
193		光背石仏（不明）	42.0	*20.0	25.0	11.0	桃山						
194		光背石仏（阿弥陀）	41.5	18.0	23.0	12.0	桃山						
195		光背石仏（阿弥陀）	42.5	16.0	22.5	10.0	桃山						
196		光背石仏（阿弥陀）	39.0	22.5	26.5	12.5	桃山						
197		光背石仏（阿弥陀）	48.5	22.0	25.5	14.0	桃山						
198		光背石仏（阿弥陀）	42.0	20.5	23.0	12.0	桃山						
199		光背石仏（阿弥陀）	39.0	16.5	21.0	11.0	桃山						
200		光背石仏（阿弥陀）	*34.0	26.0	31.5	17.0	桃山						
201		光背石仏（阿弥陀）	35.0	17.5	21.5	13.0	桃山						
202		光背石仏（地藏）	43.0	19.0	24.0	14.0	桃山						
203		光背石仏（阿弥陀）	38.5	22.0	10.5	18.0	桃山						
204		光背石仏（阿弥陀）	35.0	13.0	19.5	18.0	桃山						

金石文調査資料（桑原地区）No. 2

No.	所在地	資料名称	総高	幢・扉	幅・厚	厚・産	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考	
205	茨木市桑原 桑原墓地	光背石仏（阿弥陀）	40.0	18.5	21.0	9.5	桃山							
206		光背石仏（阿弥陀）	37.0	19.0	20.0	11.5	桃山							
207		光背石仏（阿弥陀）	*31.0	18.5	25.5	10.0	桃山							
208		光背石仏（阿弥陀）	38.0	19.0	26.0	14.0	桃山							
209		光背石仏（阿弥陀）	49.5	35.0	31.0	22.0	桃山							
210		光背石仏（阿弥陀）	59.5	19.5	25.5	12.0	桃山							
211		光背石仏（地藏）	*38.0	17.5	18.5	11.0	桃山							
212		光背石仏（地藏）	39.0	18.0	24.0	11.5	桃山							
213		光背石仏（阿弥陀）	53.0	16.0	19.0	11.5	桃山							
214		光背石仏（阿弥陀）	45.0	16.5	23.0	12.0	桃山							
215		光背石仏（地藏）	46.5	20.5	26.0	14.5	桃山							
216		光背石仏（阿弥陀）	39.5	19.5	29.0	8.5	桃山							
217		光背石仏（阿弥陀）	38.0	17.5	26.5	12.0	桃山							
218		光背石仏（阿弥陀）	54.0	25.0	35.0	17.5	桃山							
219		光背石仏（阿弥陀）	39.0	20.5	24.0	13.0	桃山							
220		光背石仏（阿弥陀）	39.0	21.5	24.5	9.5	桃山							
221		光背石仏（阿弥陀）	35.0	22.0	27.0	13.0	桃山							
222		光背石仏（阿弥陀）	35.5	19.5	24.0	11.0	桃山							
223		光背石仏（阿弥陀）	39.5	21.5	24.0	13.0	桃山							
224		光背石仏（阿弥陀）	40.0	20.0	21.0	10.0	桃山							
225		光背石仏（不明）	35.5	14.5	20.0	10.5	桃山							
226		光背石仏（阿弥陀・地藏）	48.0	16.5	29.5	15.0	桃山							
227	光背石仏（阿弥陀）	43.0	23.0	28.0	12.0	桃山								
228	光背石仏（阿弥陀）	51.0	27.5	34.0	15.0	桃山								
229	光背石仏（阿弥陀）	50.0	32.5	31.5	12.0	桃山								
230	光背石仏（阿弥陀）	48.0	25.0	23.0	13.0	桃山								
231	光背石仏（阿弥陀）	45.0	25.0	31.0	13.0	桃山								
232	光背石仏（阿弥陀）	57.5	29.0	29.0	12.0	桃山								
233	光背石仏（阿弥陀）	44.0	25.0	28.0	15.0	桃山								
234	光背石仏（阿弥陀）	58.0	25.5	23.0	10.0	桃山								
235	光背石仏（阿弥陀）	57.0	30.0	31.0	15.0	桃山								
236	光背石仏（阿弥陀）	52.0	28.0	38.0	16.5	桃山								
237	光背石仏（阿弥陀）	*25.0	15.5	22.0	14.0	桃山								
238	光背石仏（阿弥陀）	48.0	19.0	23.0	13.0	桃山								
239	光背石仏（阿弥陀）	54.0	20.0	31.0	15.5	桃山								
240	光背石仏（阿弥陀）	49.0	19.0	25.0	13.0	桃山								
241	光背石仏（阿弥陀）	42.0	17.5	25.0	11.0	桃山								
242	光背石仏（阿弥陀）	43.5	18.0	23.0	11.0	桃山								
243	光背石仏（阿弥陀）	41.5	22.5	21.0	11.0	桃山								
244	光背石仏（阿弥陀）	32.0	16.0	22.0	14.0	桃山								
245	光背石仏（阿弥陀）	54.5	21.5	28.0	14.0	桃山								
246	光背石仏（阿弥陀）	42.0	22.0	26.0	13.0	桃山								
247	光背石仏（阿弥陀）	55.0	24.0	28.0	12.5	桃山								
248	光背石仏（阿弥陀）	54.0	21.5	25.5	9.0	桃山								
249	光背石仏（地藏）	39.0	25.3	26.0	11.5	桃山								
250	光背石仏（阿弥陀）	38.5	16.0	23.5	8.0	桃山								
251	光背石仏（阿弥陀）	52.0	22.5	24.5	15.0	桃山								
252	光背石仏（阿弥陀）	38.0	14.0	25.0	8.0	桃山								
253	光背石仏（阿弥陀）	50.0	20.5	31.5	9.0	桃山								
254	光背石仏（阿弥陀）	49.0	20.5	31.0	12.0	桃山								
255	光背石仏（阿弥陀）	43.0	20.0	26.0	11.0	桃山								
256	光背石仏（阿弥陀）	39.0	19.8	26.0	12.0	桃山								
257	光背石仏（阿弥陀）	48.0	24.0	22.5	13.0	桃山								
258	光背石仏（阿弥陀）	*34.5	21.0	24.0	11.0	桃山								
259	光背石仏（阿弥陀）	46.0	22.5	31.5	15.5	桃山								
260	光背石仏（阿弥陀）	*30.0	22.5	27.0	11.0	桃山								
261	光背石仏（阿弥陀）	38.0	21.0	26.0	14.0	桃山								
262	光背石仏（阿弥陀）	*33.0	*24.5	25.5	11.0	桃山								
263	光背石仏（阿弥陀）	46.0	19.0	24.0	12.5	桃山								
264	光背石仏（阿弥陀）	55.5	25.5	31.0	14.5	桃山								
265	光背石仏（阿弥陀）	36.5	16.5	21.0	12.5	桃山								
266	光背石仏（阿弥陀）	46.0	18.5	24.0	11.0	桃山								
267	光背石仏（阿弥陀）	51.0	23.5	24.5	16.0	桃山								
268	光背石仏（阿弥陀）	50.0	24.0	23.5	12.0	桃山								
269	光背石仏（阿弥陀）	41.0	21.0	20.0	9.5	桃山								
270	光背石仏（阿弥陀）	45.5	22.0	37.0	17.0	桃山								
271	光背石仏（阿弥陀）	39.0	20.0	30.5	12.5	桃山								
272	自然石墓碑	61.0		36.5	17.0	江戸						丑四〇〇 示寂一心道知矣 三月〇〇		
273	茨木市桑原 地福寺	地福寺風景												
274		地福寺墓地風景												
275		層塔	255.0	217.5	47.6		鎌倉	徳治3	1308	3	19	敬白 奉立石塔一基 徳治參年戊申參月十九日 願主〇〇 某〇〇	五重、幅は 初層笠幅を 計る、基礎 幅54.0cm	
276		五輪塔空風輪	23.0		18.0		室町							
277		五輪塔火輪	15.5		23.0		室町							
278		五輪塔残欠	*22.0		42.5		室町							
279		舟形六字名号碑	92.3		38.0	19.0	江戸						慶〇四年 六親	四門の梵字 刻む 慶〇4年は

《このレコードは次ページに続きます。》

金石文調査資料（桑原地区）No. 3

No.	所在地	資料名称	総高	幅・彫高	幅・彫深	厚・深	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考
	茨木市桑原地福寺											南無阿弥陀佛 十月二十七日 眷属 (法名7人)	慶安四年?
280		舟形三界万霊供養碑	46.3		22.8	12.0	江戸	延宝6	1678	7	15	延寶六年 三界万霊等 丑七月十五日	
281		自然石三界万霊供養碑	90.0		31.0	21.5	江戸	元和9	1623	8		元和九年 (梵字)三界万灵六道四生等 八月吉日	
282		六字名号板碑	108.0		27.0	15.0	桃山					南無阿弥陀佛	「弥」の弓は方
283		自然石種字碑	104.0		52.0	25.0	江戸					彌	
284		自然石種字碑	107.0		28.0	23.0	桃山					彌	
285		六字名号板碑	97.0		33.0	20.5	江戸					南無阿弥陀佛	「弥」の弓は方
286		三界万霊板碑	68.6		27.0	18.0	江戸					六月二十七日 慶信士 慶真信女 三界万霊六親等 妙信女 休善信女 十一月十日	
287		圭頭状墓碑	59.7		30.3	15.2				5	22	承口二年 (法名8人)六親 五月廿二日	承応二年?
288		六字名号板碑	87.5		34.5	20.5	江戸					秋山休意 南無阿弥陀佛為六親 覺山宗円	「弥」の弓は方
289		六字名号板碑	92.5		32.6	20.7	江戸					禪定門 南無阿弥陀佛 淨米禪定門 常米禪定門 禪定尼	
290		圭頭状墓碑	61.5		27.6	15.4	江戸					西岸淨仙 定覺貞心 灵	
291		圭頭状墓碑	76.0		30.1	17.7	江戸	享保3	1718	8	19	(正面) 稱譽常讚禪定門 感譽清讚禪定尼 (右面) 享保二 丁/酉 十二月十九日 (左面) 享保三 戊/戌 八月十九日 盛譽長悅禪門 南無阿弥陀佛 三界万灵等 深譽妙泉禪尼	
292		六字名号板碑	92.0	72.8	29.4	17.5	江戸					先祖代々 靈	
293		供養板碑	70.3	57.5	24.2	16.4	江戸					覺譽道壽十一月三日 三界万霊六親眷属等 命譽法壽	
294		三界万霊供養板碑	87.0		30.0	23.0	江戸					享保十八丑天 歸西心譽榮性大徳位 十二月六日	
295		櫛形墓碑	51.5		24.2	17.0	江戸	享保18	1733	12	6	(正面) 三界万霊等 (右面) 奥田氏 (左面) 元文二巳歳	
296		櫛形三界万霊供養碑	74.5	60.5	23.9	15.0	江戸	元文2	1737			宝譽知三禪定尼 先祖諸聖靈 得譽淨月禪定門	
297		櫛形墓碑	58.5		26.0	14.7	江戸					歎室淨清信士 光室理三信女 鏡譽智清禪定尼	
298		櫛形墓碑	61.0		30.0	17.0	江戸					淨譽法清禪定尼 顔童子 本口淨清円智信士 證順信士靈	
299		櫛形墓碑	78.0		27.7	16.0	江戸					清譽貞口夢玄童子	
300		櫛形墓碑	57.0		24.1	14.0	江戸	寛政2	1790	3	28	(正面) 速任生西禪定門 極譽樂安禪定門 鏡譽明円禪定尼 冬覺寂玄信士 了岳明辨禪定尼 (右面) 天明八申十月廿九日 (左面) 寛政二戌三月廿八日	
301		櫛形墓碑	73.0	58.0	24.0	13.0	江戸	寛政3	1791	7		(正面) 往譽生西禪定門 靈位 名譽貞真禪定尼 (右面) 寛政三 辛/亥 七月 (左面) 奥田氏	
302		櫛形墓碑	66.6		27.6	16.9	江戸	文化7	1810	9		(正面) 然譽皓月禪定門 先祖代々諸靈	

《このレコードは次ページに続きます。》

金石文調査資料（桑原地区）No. 4

No.	所在地	資料名称	総高	幅・高さ	幅・高さ	厚・深	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考
	茨木市桑原地福寺											然譽皓明禪定尼 (右面) 白位田八左門 (左面) 文化七年午九月日	
303		櫛形墓碑	88.0	66.0	28.7	13.7	江戸	文化9	1812	3		(正面) 得譽静心禪定門 聖譽貞賢禪定門 進譽貞精信女 (右面) 文化九 壬/申 年三月建 白位田源次良 (左面) 玉譽浄林禪定門 心譽壽三禪定尼	
304		櫛形墓碑	89.0	66.8	27.0	18.2	江戸	文化9	1812	10		(正面) 賢譽儀道禪定門 先祖代々精靈位 禮譽妙智禪定尼 (背面) 文化九 壬/申 十月建之 奥田善六 (左面) 念譽傾心禪定門 心譽蓮入禪定尼	
305		櫛形墓碑	80.0	61.3	24.6	14.6	江戸					(正面) 泰譽浄光禪門 得譽壽光禪尼 (右面) 田所氏	
306		櫛形墓碑	75.0	61.0	26.9	16.8	江戸					香譽浄薫禪定門 林譽光清禪定尼	
307		櫛形三界万靈供養碑	78.0	61.3	28.5	16.0	江戸					休意浄閑 靈譽浄蓮 春知妙閑 生譽妙蓮	
308		櫛形墓碑	55.4	17.0	20.9	13.0	江戸					惠秋童女 先祖 大譽利仙大徳 精靈 代々 空譽利照比丘尼 知蓮童子	地藏坐像を 彫込む
309		櫛形墓碑	58.7		26.0	15.7	江戸	文政11	1828	11	1	(正面) 心譽妙順尼 先祖代々 靈 慈光譽順女 (右面) 施主源左門 (左面) 文政十一子十一月下旬	
310		櫛形墓碑	48.0	34.5	19.0	15.0	江戸					誓譽智順尼 寺 丑九月九日 口勢	
311		屋根型墓碑	102.5	65.5	21.3	20.6	江戸	宝永2	1705	8	5	(正面) 樂譽浄安信士 然譽法安信女 (右面) 宝永二酉載八月五日 (左面) 元禄十一寅載十一月廿四日	
312		屋根型六字名号碑	166.0	107.4	35.7	32.6	江戸	元禄3	1690	8	11	稱譽浄尊 六親 一譽蓮向 元禄二年 歸元 浄迎理源信士 巳八月十一日 元禄三 庚/午 天 俗名□二 八月十一日 照宣浄春信士 一蓮 為口生 長譽慶春信女	「弥」の弓 は方
313		屋根型墓碑	124.5		36.7	15.3	江戸	宝永5	1708	11	14	(正面) 讚譽貞岸良慶 心譽慶依宝譽慶心靈位 松譽法岸壽慶 (右面) 讚貞享二丑天五月廿二日 松宝永五戊子天十一月十四日 (左面) 心寛文六丙午天十二月廿六日 宝延宝元癸丑天八月廿七日 安宅浄意信士 光譽智誓禪尼 一蓮 本譽道誓禪門	
314		屋根型墓碑	85.0	59.3	18.5	19.5	江戸						

《このレコードは次ページに続きます。》

金石文調査資料（桑原地区）No. 5

No.	所在地	資料名称	総高	幅・高	厚・深	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考	
315	茨木市桑原地福寺	屋根型墓碑	88.0	56.0	24.7	16.3	江戸	寛保3	1743	正	2 2	浄譽清春禪 尼 利岳常貞信士 (正面) 即應敬悦信士 教應理心信女 (右面) 元文三戊午年正月廿二日 (左面) 俗名田所治右衛門 寛保三癸亥年五月廿五日	
316		屋根型墓碑	111.5	71.5	27.5	19.5	江戸					(正面) 西譽定心禪定門 勝山定念信士 天譽清林禪定尼 諦巖榮聰信女 (右面) 拙岸和尚 中務氏吉良兵衛 空禪大梁和尚 同 平兵衛 (左面) 諦岳慧聰信士 清光慧順信女	
317		屋根型墓碑	102.0	65.0	21.7	21.4	江戸				2 9	(正面) 直譽教圓信士 一到 靈位 安譽林超禪尼 (右面) 施主大坂 久兵衛 (左面) 廿九日田所氏	
318		屋根型三界万霊供養碑	116.0	79.3	39.4	19.0	江戸					雲譽宗仙 六月九日 衆 三界万霊六親眷属 山譽傍朋 岳應円心	「六親眷属」は「六親眷属」の影り間違
319	方柱状墓碑	77.0		17.5	17.5	江戸	宝永6	1709			(正面) 宝永二乙酉天 衆 孤峯西元信士 三月廿六日 (右面) 宝永五戊子天 還本香屋清薫信女 八月廿八日 元禄三己巳天 版元受心信女 八月廿九日 (左面) 元禄四辛未 早玄壽幻童子 三月十日 宝永六己丑天 早世智専童女 十月十二日		
320	方柱状墓碑	101.0	64.5	24.8	24.6	江戸	文政2	1819			(正面) 圓譽妙融禪定尼 衆 蓮譽生圓禪定門 容室芳顔信女 (右面) 文政二卯仲秋 辻九右衛門 (左面) 草香妙開童女 到願童子		
321	方柱状墓碑	115.0	75.5	27.6	27.6	江戸	天保6	1835		7	(正面) 法號 菊翁祐専禪定門 靈位 (右面) 天保六乙未年七月建之 郡山邑 壺井姓 (背面) 獨樂庵菊翁孤石山人墳 (左面) 世話人 目賀田氏 車乾氏 補助人 仲内如紅 中塚花定 白井田文□ (台石) 誹諧 社中 算筆 門人中		
322	無縫塔	114.0	59.0			明治	明治22	1889	4	8	(正面) 奉蓮社泉譽上人□□至心琢善和尚 (背面) 明治廿二年□□四月八日□□同行中		
323	無縫塔	87.0	49.3			近代					出蓮社窓譽上人戒津和尚		
324	無縫塔	103.0	62.5			近代					(正面) 衆 法蓮社宣譽大□阿悦□和尚 (背面) 葉原山地福寺十一世		
325	無縫塔	89.0	60.0			江戸	享保20	1735	2	1 8	(正面) 流蓮社譽上人團察和尚 (背面) 享保廿卯年二月十八日		
326	無縫塔	93.0	65.0			江戸	宝永元	1704	5	1 8	(正面) 高蓮社俊譽上人了牛和尚 (背面) 宝永元 甲/申 天 為師恩 伍月十八日 圓碩建之		

金石文調査資料（桑原地区）No. 6

No.	所在地	資料名称	総高	幢・扉高	幅	厚・深	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考	
327	茨木市桑原地福寺	無縫塔	92.0	67.0			近代					忍蓮社信譽上人願生大和尚		
328		無縫塔	99.0	62.0			江戸	享保20	1735	1	1	8	(正面) 攸蓮社淨譽上人彌觀和尚 (背面) 享保廿卯年十一月十八日	
329		無縫塔	96.0	61.5			江戸						(正面) 光蓮社口譽大口和尚 (背面) 五重同行中	
330		無縫塔	99.0	62.0			江戸						(正面) 善譽上人 (背面) □	
331		無縫塔	107.0	65.0			江戸						精蓮社警譽上人大和尚	
332		無縫塔	77.3	49.5			昭和	昭和17	1942	8			葉蓮社映譽上人龍笛和尚	
333		無縫塔	91.0	60.0			昭和	昭和17	1942	8			(正面) 寂蓮社明譽上人隨阿常口和尚 (背面) 昭和十七年八月建立	
334		自然石墓碑	71.0		55.5	18.0	江戸						一峯花開信士 森精譽智立禪尼 男岸妙立信女	
335		自然石墓碑	50.0		30.0	19.0	江戸						露栖童女	
336		自然石二尊像	103.0	16.0	50.0	33.0	桃山							未製品
337		光背石仏(阿弥陀)	34.0	16.0	23.5	12.5	桃山							
338		光背石仏(三尊)	48.0	18.5	27.5	14.0	江戸							
339		自然石十三仏碑	116.0	15.0	65.0	33.0	桃山	天正9	1581	2	1	5	天正九年二月十五日	
340		自然石彫込六地藏菩薩像	113.0	17.0	79.0	26.0	桃山	天正8	1580	1	1	2	4	天正八庚辰□ 十一月廿四日 (法名2人)
341	五輪塔板碑	73.0	45.5	30.0	10.0	江戸							五輪塔彫込 む	
342	自然双五輪塔石板碑	35.0	15.0	34.0	12.0	江戸							五輪塔2基 彫込む	
343	自然双五輪塔石板碑	65.0	25.0	48.0	14.5	江戸						□	五輪塔2基 彫込む	
344	舟形双五輪塔板碑	*31.0	*19.0	24.0	12.0	江戸						二月廿五日	五輪塔2基 彫込む	
345	舟形双五輪塔板碑	38.0	31.0	36.5	13.0	江戸							五輪塔2基 彫込む	
346	舟形双五輪塔板碑	47.0	39.8	33.5	13.5	江戸							五輪塔2基 彫込む	
347	自然石五輪塔(三基)板碑	49.0	38.0	43.0	15.5	江戸							五輪塔3基 彫込む	
348	自然石五輪塔(三基)板碑	45.5	33.0	35.0	18.5	江戸							五輪塔3基 彫込む	
349	自然石五輪塔(三基)板碑	64.0	43.0	55.0	14.0	江戸							五輪塔3基 彫込む	
350	自然石五輪塔(三基)板碑	52.0	43.5	38.0	13.0	江戸							五輪塔3基 彫込む	
351	自然石五輪塔(三基)板碑	81.0	19.5	55.0	27.0	江戸							五輪塔3基 彫込む	
352	一石五輪塔	49.0		14.0		江戸							地輪高17.0 cm	
353	一石五輪塔	73.5		19.5		江戸							地輪高25.5 cm	
354	一石五輪塔	44.5		11.5		江戸							地輪高17.0 cm	
355	一石五輪塔	42.0		12.5		江戸							地輪高18.0 cm	
356	一石五輪塔	41.5		14.0		江戸							地輪高13.5 cm	
357	一石五輪塔	59.0		13.5		江戸							地輪高22.5 cm	
358	一石五輪塔	52.5		16.0		江戸							地輪高20.0 cm	
359	一石五輪塔	44.0		15.0		江戸							地輪高15.5 cm	
360	一石五輪塔	48.0		16.0		江戸							地輪高19.5 cm	
361	一石五輪塔	54.0		16.5		江戸							地輪高23.5 cm	
362	一石五輪塔	66.0		14.5		江戸							地輪高31.0 cm	
363	一石五輪塔	58.5		13.0		江戸							地輪高28.5 cm	
364	一石五輪塔	46.5		14.0		江戸							地輪高16.5 cm	
365	一石五輪塔	37.0		12.3		江戸							地輪高14.5 cm	
366	一石五輪塔	49.0		16.0		江戸							地輪高16.5 cm	
367	一石五輪塔	53.0		11.0		江戸							地輪高21.5 cm	
368	一石五輪塔	58.0		12.0		江戸							地輪高26.5 cm	
369	一石五輪塔	48.0		14.0		江戸							地輪高27.0 cm	
370	一石五輪塔	49.0		14.5		江戸							地輪高22.0 cm	
371	一石五輪塔	45.5		14.0		江戸							地輪高22.5 cm	
372	一石五輪塔	67.0		16.0		江戸							地輪高39.0 cm	

金石文調査資料（桑原・生保地区）

No	所在地	資料名称	総高	台・高	幅・径	厚・深	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考	
373	茨木市桑原地福寺	丸彫地藏菩薩像	104.0	75.0			江戸							
374		石燈籠	173.0				江戸	延宝9	1681			延寶九 辛/酉 年		
375		石燈籠	164.0				江戸	宝永8	1711	4	18	宝永八 辛/卯 天 奉寄進石塔一基 施主榮一		
376	茨木市車作六坊塚	六坊塚碑	101.5		16.0	15.0	江戸						頂部方錐状 前面3弁、 背面は蓮弁 を刻まずに 孔を彫込む 、竿部幅14 .5cm厚13.5 cm	
377		蓮台石	78.0		30.7		江戸					六坊塚 奉納		
378	茨木市車作清水墓地	花立	114.0		14.0	14.5	江戸					奉		
379		花立	85.0		14.5	14.0	江戸					納		
380		墓地風景												
381	茨木市生保諏訪神社	竿石	30.7		22.5		室町	康正2	1456			康正二	八角柱	
382		五輪塔水輪	14.5		19.0		桃山							
383		板碑形石仏(阿弥陀)	51.0	16.8	20.0	13.0	桃山							
384		板碑形石仏(阿弥陀)	53.5	16.5	24.0	14.5	桃山							
385		光背石仏(阿弥陀)	58.5	21.5	30.0	15.5	桃山							
386		板碑形石仏(阿弥陀)	43.5	13.0	20.0	16.0	桃山						石龕風	
387		板碑形石仏(阿弥陀)	42.5	14.0	22.5	10.5	桃山							
388		光背石仏(阿弥陀)	43.5	19.0	22.0	12.5	桃山							
389		光背石仏(阿弥陀)	42.5	20.0	22.3	12.0	桃山							
390		光背石仏(阿弥陀)	43.5	18.5	21.5	14.0	桃山							
391		板碑形石仏(阿弥陀)	58.5	21.5	33.4	18.0	桃山						石龕風	
392		光背石仏(阿弥陀)	40.0	19.5	24.5	9.0	桃山						石龕風	
393		光背石仏(阿弥陀)	38.0	20.7	24.0	12.5	桃山							
394		光背石仏(阿弥陀)	44.0	22.4	26.0	13.0	桃山							
395		光背石仏(阿弥陀)	*33.0	*18.0	21.5	14.0	桃山							
396		光背石仏(阿弥陀)	45.5	20.5	27.0	11.0	桃山							
397		光背石仏(阿弥陀)	47.0	16.5	22.5	13.0	桃山							
398		光背石仏(阿弥陀)	40.0	17.5	19.5	12.0	桃山							
399		方柱状墓碑	108.5	62.7	24.1	23.5	江戸	文政12	1829	8			(正面) 南無阿弥陀佛 (背面) 文政十二年丑八月 南ノ坊幸助	
400		方柱状墓碑	70.0	54.5	23.6	23.8	江戸	安政6	1859	3			(正面) 尼智善 釋教信 尼妙教 (右面) 池野氏 (左面) 安政六己未年三月建之	
401	茨木市生保諏訪神社	石燈籠	*163.0				江戸	元禄15	1702	11	10	(正面) 奉納寄進石燈籠 願主善太郎 (背面) 元禄十五年 十一月十日	向って右	
402		石燈籠	*175.0				江戸	元禄15	1702	11	10	(正面) 奉納寄進石燈籠 願主善太郎 (背面) 元禄十五年 十一月十日	向って左	
403		石燈籠	215.5				江戸	寛延4	1751	3		(正面) 施主大坂 奉納 伏見屋又兵衛 (左面) 寛延四 辛/未 三月	向って右	
404		石燈籠	224.0				江戸	寛延4	1751	3		(正面) 施主大坂 奉納 伏見屋又兵衛 (左面) 寛延四 辛/未 三月	向って左	
405		鳥居	286.0				明治	明治5	1872	正			(正面) 奉納 氏子中 (背面) 干時明治五 壬/申 年正月吉日	
406	手水鉢	59.0		104.0	62.0	近代						(正面) 手水		
407	茨木市生保観音堂	鰐口(鉄製)			17.6	5.0	近代						堂内	
408	位牌(木製)	26.1	21.2	6.7	1.1	江戸	貞享3	1686	4	5	(正面) 深蓮社信譽上人 貞恵秀大和尚 貞享三 丙/寅 天四月五日	正面側面金 泥		

金石文調査資料（生保地区）

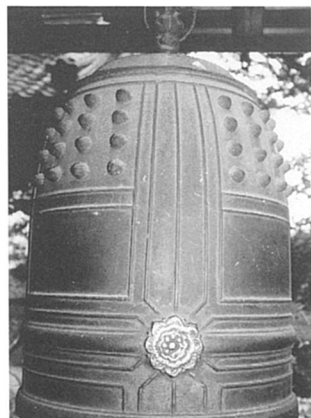
No	所在地	資料名称	総高	盤・基高	盤・径	厚・深	時代	紀年	西暦	月	日	銘文	備考	
409	茨木市生保 観音堂脇	五輪塔火輪	22.3		33.2		室町						火輪、四門 展開（↑ ↓ ↑ ↓）	
410		五輪塔火輪	23.5		36.4		室町							
411		五輪塔水輪	26.7		36.5		室町							
412		板碑状阿弥陀如来	39.6	18.1	22.0	14.4	室町							
413		板碑状阿弥陀如来	*26.0	*13.1	11.8	16.0	室町						右上半分残	
414		板碑状阿弥陀如来	29.3	16.4	22.1	15.1	室町							
415		光背石仏（阿弥陀）	*24.6	*14.4	*15.9	11.8	室町						頭部欠失、 体部右半分 残	
416		光背石仏（阿弥陀）	*17.0	*10.0	30.0	10.5	室町						上部のみ	
417		光背石仏（阿弥陀）	34.1	20.9	24.3	13.6	室町							
418		光背石仏（阿弥陀）	*23.0	*17.7	*23.6	8.0	室町						頭部欠失	
419		光背石仏（阿弥陀）	35.0	17.6	19.4	10.1	室町							
420		茨木市生保 正覚寺	半鐘			33.4		江戸						
421			五輪塔火輪	21.0		35.6		室町						火輪、四門 展開（↑ ↓ ↑ ↓）
422			五輪塔火輪	*10.0		35.2		室町						軒厚6.4cm
423			五輪塔水輪	26.3		34.2		室町						水輪、四門 展開（↑ ↓ ↑ ↓）
424			五輪塔水輪	30.7		39.3		室町						
425			五輪塔火輪	17.2		29.1		室町						
426			五輪塔火輪	16.5		32.0		室町						
427			五輪塔地輪	19.0		25.3		室町						
428	五輪塔火輪		16.5		25.9		室町							
429	五輪塔火輪		19.3		28.7		室町							
430	五輪塔火輪		17.4		29.5		室町							
431	鬼瓦（瓦製）		36.5		42.3	27.6	江戸							
432	一石五輪塔残欠		*18.0		16.5		室町							
433	手水鉢	18.7		37.8										
434	茨木市生保 水源地	光背石仏（阿弥陀）	31.8	19.7	21.3	11.0	桃山						井戸跡	
435	茨木市生保 生保墓地	丸彫阿弥陀如来像	98.5	81.4	31.9	22.0	江戸						迎え木尊	
436	茨木市生保 生保墓地	前机	60.5		123.3	54.0	江戸							
437		櫛形墓碑	105.0	65.1	27.0	16.3	江戸	天明8	1788	5	21	(正面) 妙善 天明六 丙/午 三月八日 釋 教應 天明八 戊/申 五月廿一日 教善 天明七 丁/未 九月晦日 (左面) 瀬戸文蔵		
438		櫛形墓碑	64.5		27.0	17.3	江戸	文化5	1808	4	10	文化五辰 釋 法廣 四月十日		
439		方柱墓碑	113.0	45.0	27.3	26.8	江戸	文政4	1821	7	9	(正面) 文政四年巳年七月九日 了圓 釋 尼妙圓 文化十五年寅五月六日 (右面) 文化八未年 釋 尼妙尊 二月廿二日 (左面) 寛政十三年 釋 淨悦 寅正月二日		
440		方柱墓碑	155.0	65.0	27.1	26.6	江戸	天保4	1833	6	21	(正面) 圓誓 文政二卯年八月廿一日 釋 妙誓 (右面) 釋 妙完 天保四巳年六月廿一日 (背面) 釋 妙證 文政十三寅年二月廿一日 (左面) 天保元年 木村宗信建之 寅八月		

円福寺

茨木市大岩



1



2



3



4



5



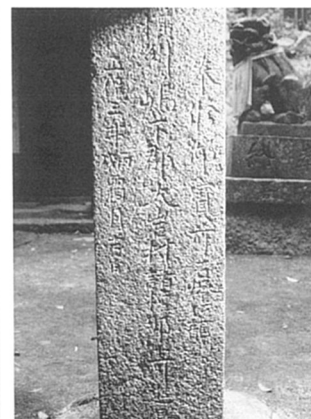
6

大歳神社

茨木市大岩



7



7



8



8



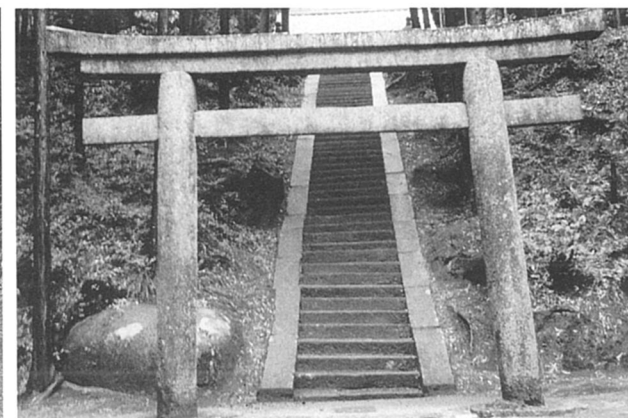
8



9



10



11

PL. 2

大岩地区(2)



12



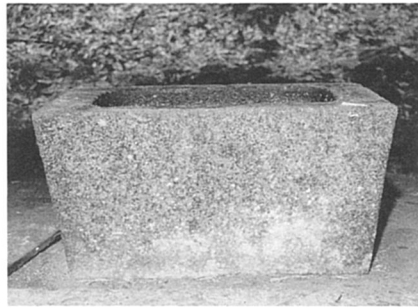
12



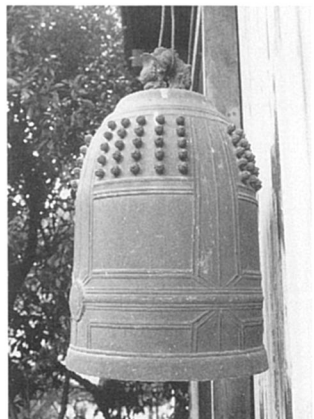
12



13



14



15



16



16



16



16



17